

◆ 品川区 ◆

中小企業の景況

令和2年度第3・四半期

(令和2年10～12月)

目 次



落語で楽しく学ぶ事業承継セミナー
(令和2年10月16日開催)

都内中小企業の景況(令和2年10～12月期).....	1
品川区内中小企業の景況(令和2年10～12月期).....	2
品川区の今期の特徴点.....	3
製 造 業.....	4
卸 売 業.....	9
小 売 業.....	13
サービス業.....	18
建 設 業.....	22
日銀短観.....	26
東京都と品川区の企業倒産動向.....	26
特別調査「新型コロナウイルス感染症による影響」.....	27
中小企業景況調査 比較表・転記表.....	33

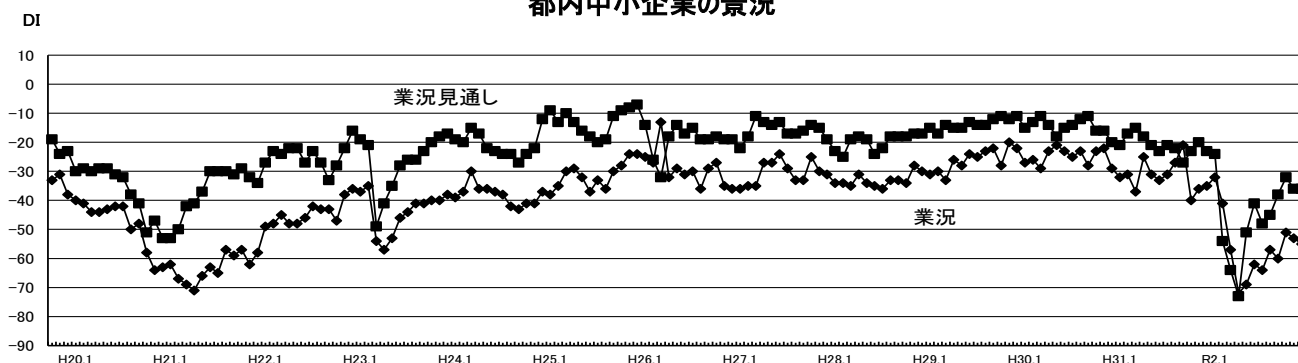
品川区地域振興部商業・ものづくり課

調査実施機関 株式会社 東京商工リサーチ

都内中小企業の景況（令和2年10～12月期）

業況：全体でやや改善、卸売業では大幅に改善。小売業はやや悪化。
見通し：全業種で大きく改善の見通し。

都内中小企業の景況



業況DI（季節調整済み、「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は▲55（前期は▲60）と、やや改善した。今後3ヶ月間の見通しでは、今期比19ポイント増の▲36と、極端に改善する見通し。

	前期 (R2.9)	今期 (R2.12)	増減	今後3ヶ月間の 見通し
製造業	▲59	▲51	8	▲35
卸売業	▲66	▲56	10	▲37
小売業	▲61	▲66	▲5	▲43
サービス業	▲54	▲48	6	▲30
全体	▲60	▲55	5	▲36

令和2年12月の都内中小企業の業況DIは、前期から5ポイント増の▲55と、やや改善した。今後3ヶ月間の業況見通しDIでは、今期比19ポイント増の▲36と、極端に改善する見通しとなっている。

都内中小企業の業況DIを業種別にみると、卸売業（▲56）は10ポイント増、製造業（▲51）は8ポイント増、サービス業（▲48）は6ポイント増といずれも大幅に改善した。小売業（▲66）は5ポイント減とやや悪化した。

なお、仕入価格DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、小売業（▲9）は5ポイント増、製造業（6）は4ポイント増とやや上昇した一方で、卸売業（▲4）は変動がなかった。

販売価格DI（販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、卸売業（▲3）は4ポイント増とやや上昇し、製造業（▲10）とサービス業（▲13）は変動がなかった。一方で、小売業（▲21）は3ポイント減とやや下降した。

今後3ヶ月間の業況見通しDIを業種別にみると、全業種で大きく改善が見込まれている。小売業（▲43）は23ポイント増と極端に改善する見通し。卸売業（▲37）は19ポイント増、サービス業（▲30）は18ポイント増、製造業（▲35）は16ポイント増と大幅に改善する見込みとなっている。

【注】

○D. I (Diffusion Indexの略)

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. Iを過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

品川区内中小企業の景況（令和2年10～12月期）

業況：全体の景況感は大幅に改善。製造業、卸売業、小売業で大幅に改善。
見通し：サービス業、建設業は改善、製造業、卸売業、小売業で悪化の見込み。

品川区内中小企業の景況



平成14年2月に始まった戦後最長の好況の影響からか、品川区の業況DIは平成18年10月頃までは緩やかながらも回復基調にあった。その後、サブプライム問題が表面化した平成19年7月頃より業況DIは低下が続き、リーマンショック発生から約1年後にあたる平成21年7月～9月期の業況DIは▲74と、最も悪化した。以後、平成23年3月の東日本大震災発生直後には再び悪化したものの、回復の軌跡をたどっていたが、平成31年4月以降は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく悪化し、令和2年4月～6月期の業況DIは▲72となった。

今期（令和2年10～12月期）は、引き続き厳しい状況ながらも、業況DIは▲64と大幅に回復した。

品川区内中小企業の業況DI

	前々期 (R2.4～6)	前期 (R2.7～9)	今期 (R2.10～12)	今後3ヶ月間 の見通し
製造業	▲65	▲78	▲63	▲72
卸売業	▲84	▲70	▲62	▲66
小売業	▲84	▲74	▲66	▲71
サービス業	▲67	▲68	▲70	▲66
建設業	▲65	▲63	▲58	▲52
全体	▲72	▲71	▲64	▲65

※小数点第1位を四捨五入した数値

《最近の景況動向》

今期の品川区内中小企業全体の業況は、大幅に改善した。来期（今後3ヶ月間の見通し）においては、今期並になる見通しとなっている。業種別にみると、製造業、卸売業、小売業は大幅に改善、建設業ではやや改善したものの、サービス業はやや悪化した。来期は建設業が大幅に改善、サービス業はやや改善、卸売業、小売業はやや悪化し、製造業では大幅に悪化する見込みである。

経済産業省が取りまとめている鉱工業指数においては、12月（速報）は生産、出荷は低下、在庫、在庫率は上昇した。製造工業生産予測調査では、1月は前月比8.9%の上昇、2月は0.3%の低下を予測している。なお、総務省統計局が取りまとめている12月の消費者物価指数（2015年=100）は101.1（中分類総合指数）となっており、前月比（季節調整値）と同水準となった。

品川区の今期の特徴点

景 気 予 報						
大きく上昇	上 昇	やや上昇	横 這 い	やや下降	下 降	大きく下降

全 体



業況はかなり改善した。売上額、収益はともに前期並となった。販売価格は前期並となり、仕入価格は上昇傾向がやや弱まった。資金繰りは前期並となった。

製 造 業



業況はかなり改善した。売上額は減少幅が極端に縮小し、収益は減少幅がかなり縮小した。販売価格は下降傾向がやや弱まり、原材料価格は上昇傾向がやや弱まった。在庫は前期並となった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

卸 売 業



業況はかなり改善した。売上額、収益はともに減少幅がかなり縮小した。販売価格は前期並となり、仕入価格は上昇傾向がやや弱まった。在庫は過剰感がやや改善した。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。

小 売 業



業況はかなり改善した。売上額、収益はともに減少幅が極端に拡大した。販売価格は下降傾向がかなり強まり、仕入価格は上昇傾向がかなり弱まった。在庫は過剰感がかなり強まった。資金繰りは厳しさがかなり増した。

サ ー ビ ス 業



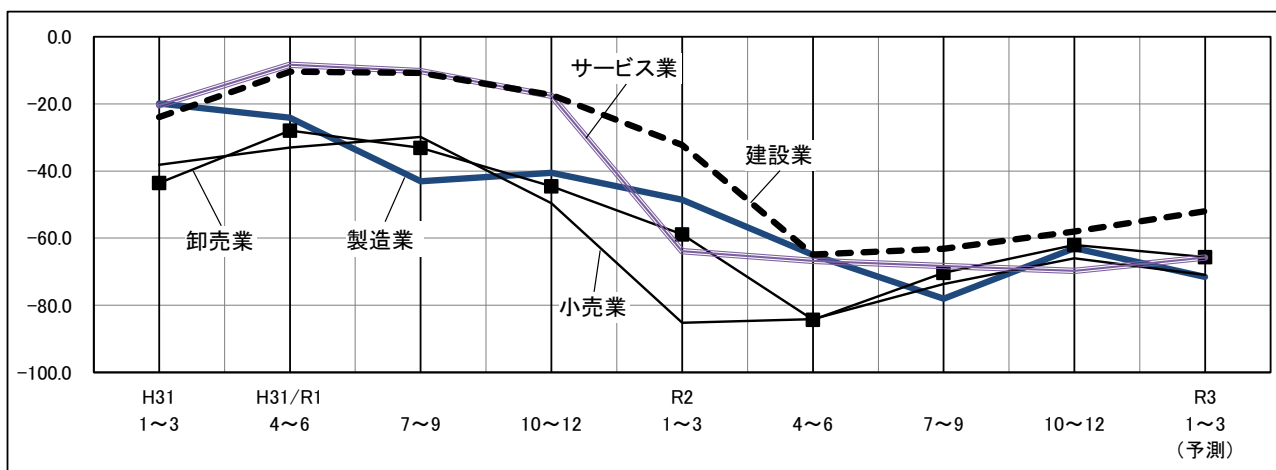
業況は低調感がやや強まった。売上額は減少幅がかなり拡大し、収益は減少幅がやや拡大した。料金価格は下降傾向がやや強まり、材料価格は上昇傾向がやや強まった。資金繰りは前期並となった。

建 設 業

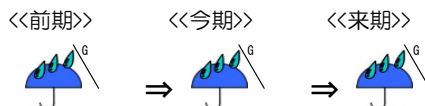


業況はやや改善した。売上額は減少幅がやや縮小した。施工高は減少幅がかなり縮小し、収益は前期並となった。請負価格は下降傾向がやや弱まり、材料価格は前期並となった。在庫は過剰感がやや改善した。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



製造業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△78→△63)はかなり改善した。売上額(△63→△31)は減少幅が極端に縮小し、収益(△56→△45)は減少幅がかなり縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は12ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(△18→△16)は下降傾向がやや弱まり、原材料価格(14→10)は上昇傾向がやや弱まった。在庫(11→10)は前期並となった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△33→△27)は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度(21→6)は容易さがかなり縮小した。今期借入れをした企業は39%で前期の46%から7ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

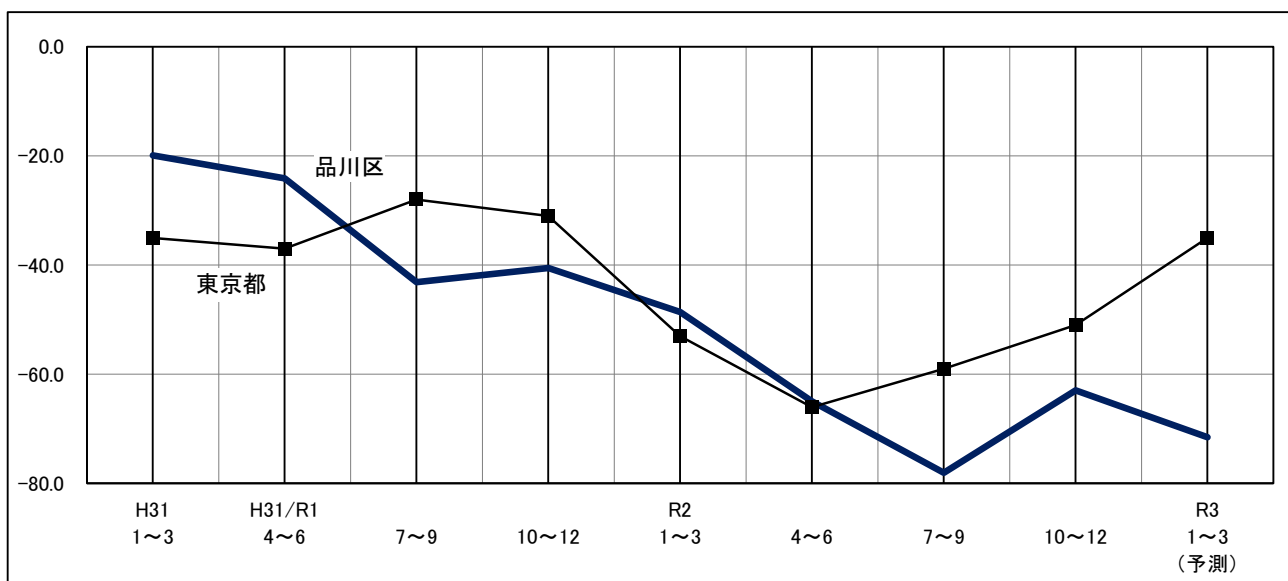
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が76%、2位は「工場・機械の狭小・老朽化」が28%、3位は「利幅の縮小」が24%となった。前期から2位と3位が入れ替わったものの、上位3項目に変動はなかった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が55%、2位は「販路を広げる」が54%、3位は「新製品・技術を開発する」と「情報力を強化する」が22%となった。前期4位だった「情報力を強化する」が、今期3位と順位を上げた。

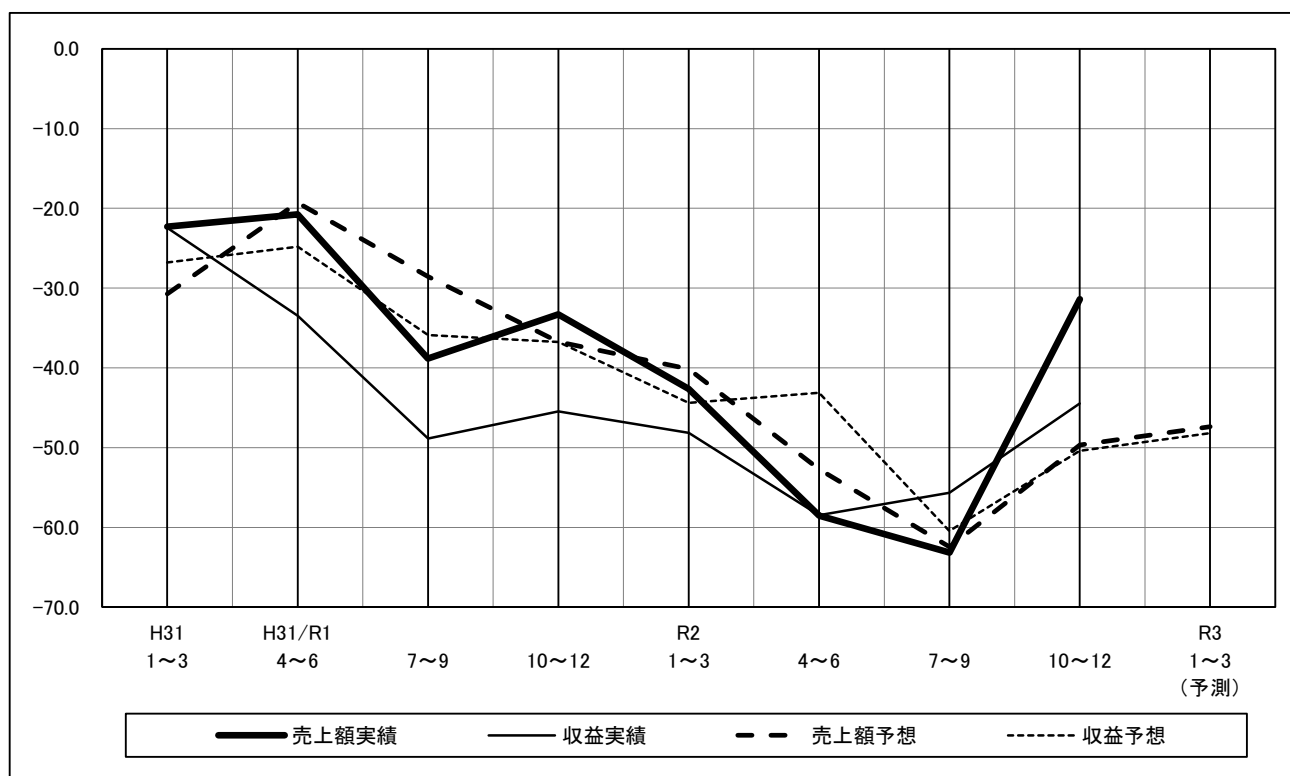
来期の見通し

業況(△63→△72)は低調感がかなり強まる見込み。売上額は減少幅がかなり拡大し、収益は減少幅がやや拡大すると予想されている。

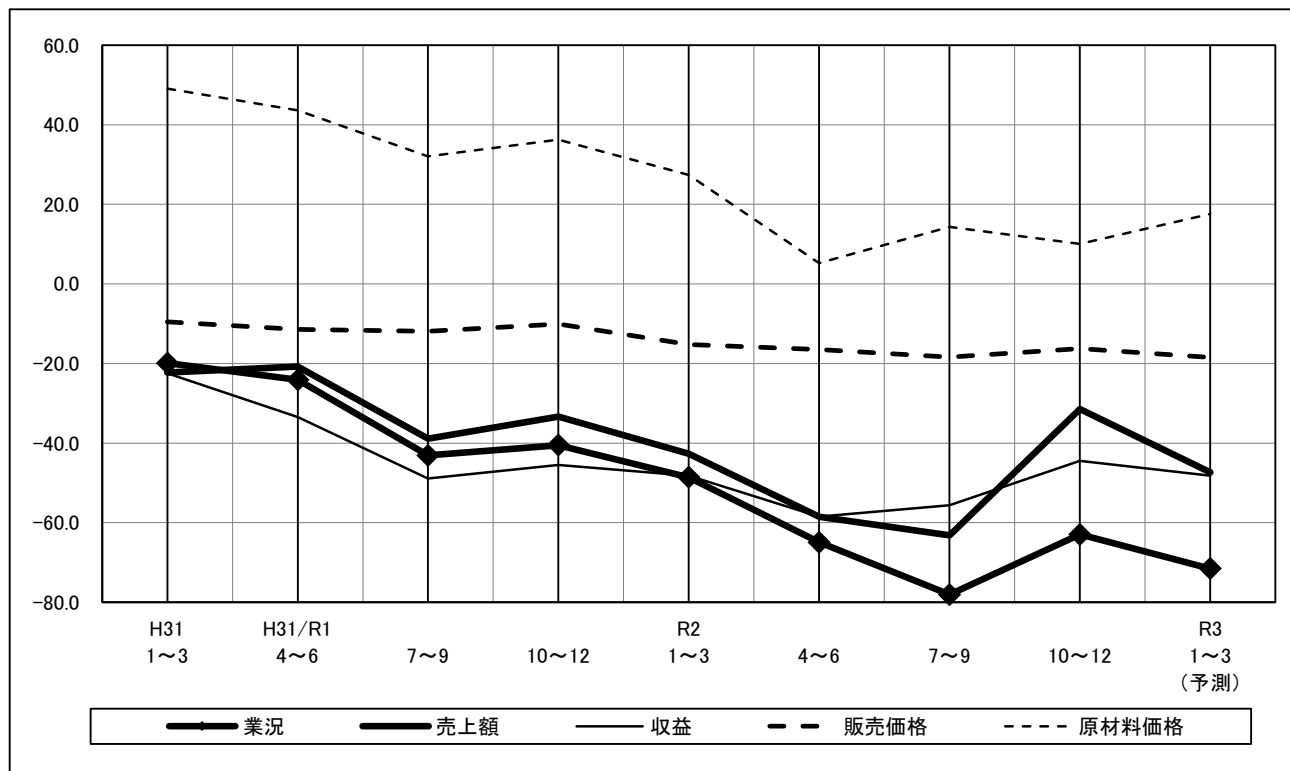
〈製造業〉品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



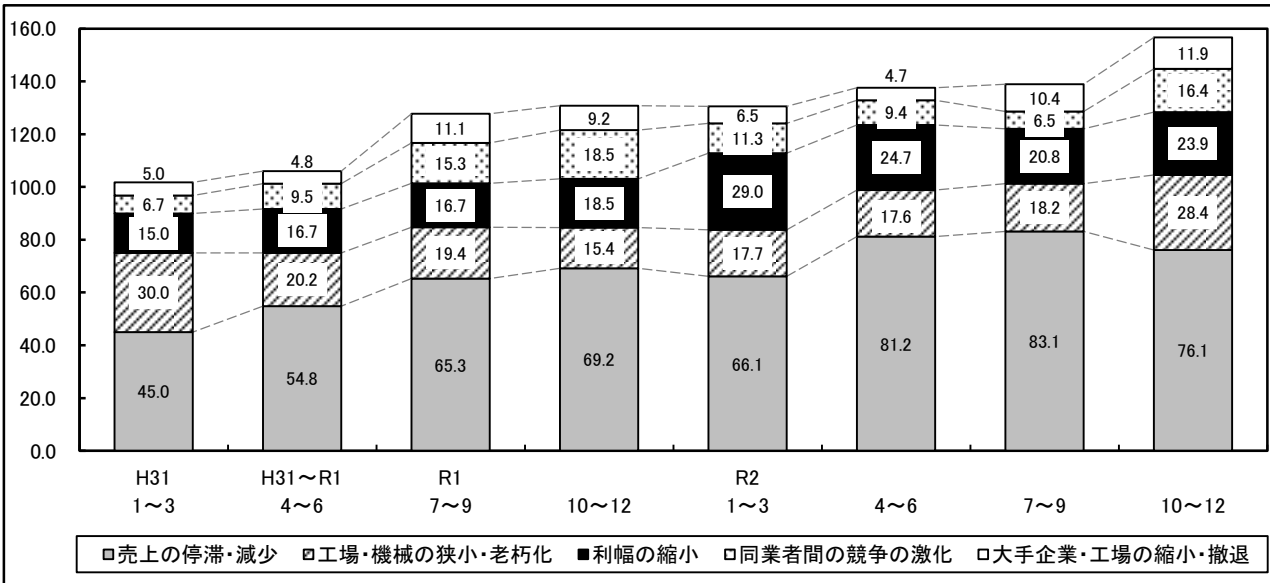
〈製造業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

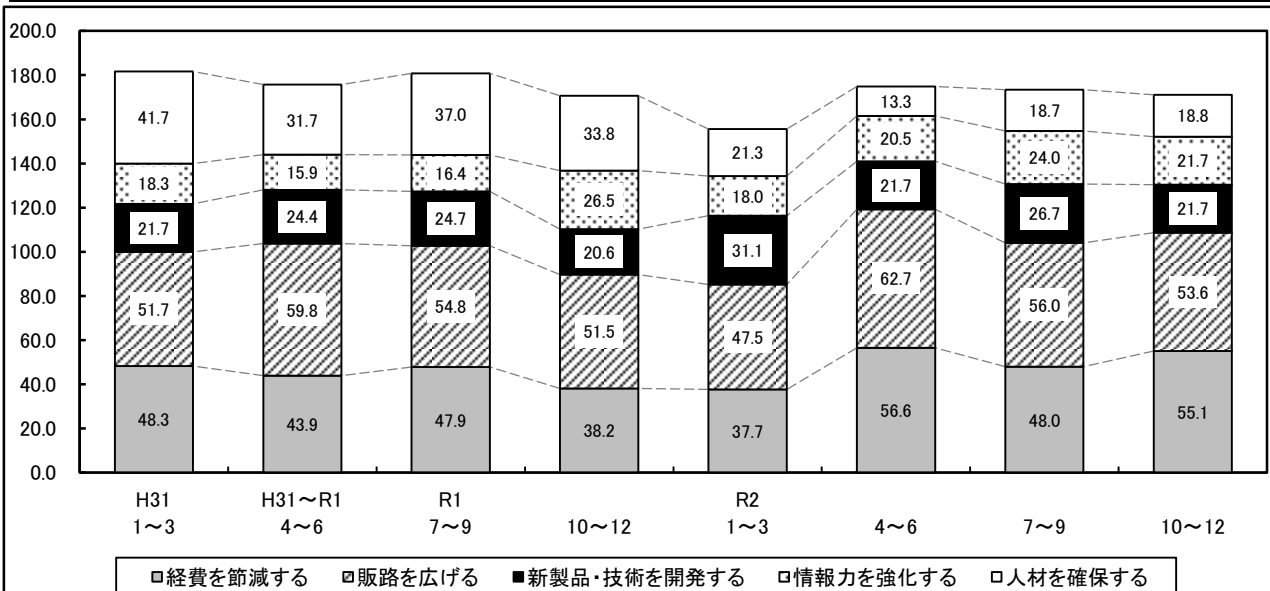


〈製造業〉 経営上の問題点（％）



	R2.1～3月期		R2.4～6月期		R2.7～9月期		R2.10～12月期	
第1位	売上停滞・減少	66.1 %	売上停滞・減少	81.2 %	売上停滞・減少	83.1 %	売上停滞・減少	76.1 %
第2位	利幅の縮小	29.0 %	利幅の縮小	24.7 %	利幅の縮小	20.8 %	工場・機械の狭小・老朽化	28.4 %
第3位	原材料高	21.0 %	工場・機械の狭小・老朽化	17.6 %	工場・機械の狭小・老朽化	18.2 %	利幅の縮小	23.9 %
第4位	工場・機械の狭小・老朽化	17.7 %	人件費の増加	11.8 %	合理化の不足 大手企業・工場の縮小・撤退	10.4 % 10.4 %	同業者間の競争の激化	16.4 %
第5位	人手不足	16.1 %	人手不足	10.6 %	原材料高 人件費以外の経費増加	9.1 % 9.1 %	大手企業・工場の縮小・撤退 人手不足	11.9 % 11.9 %

〈製造業〉 重点経営施策（％）



	R2.1～3月期		R2.4～6月期		R2.7～9月期		R2.10～12月期	
第1位	販路を広げる	47.5 %	販路を広げる	62.7 %	販路を広げる	56.0 %	経費を節減する	55.1 %
第2位	経費を節減する	37.7 %	経費を節減する	56.6 %	経費を節減する	48.0 %	販路を広げる	53.6 %
第3位	新製品・技術を開発する	31.1 %	新製品・技術を開発する	21.7 %	新製品・技術を開発する	26.7 %	新製品・技術を開発する	21.7 %
第4位	人材を確保する	21.3 %	情報力を強化する	20.5 %	情報力を強化する	24.0 %	情報力を強化する	21.7 %
第5位	情報力を強化する	18.0 %	教育訓練を強化する	16.9 %	人材を確保する	18.7 %	人材を確保する	18.8 %

(1) 電気機械器具

業況(△27→△50)は低調感が極端に強まった。売上額(△18→△21)は減少幅がやや拡大し、収益(△5→△41)は減少幅が極端に拡大した。販売価格(10→7)は上昇傾向がやや弱まり、原材料価格(22→1)は上昇傾向が極端に弱まった。資金繰り(13→△10)は厳しい状況に転じた。

来期の業況は低調感が極端に強まると予想されている。

(2) 一般機械器具・金型

業況(△90→△69)は極端に改善した。売上額(△72→△48)は減少幅が極端に縮小し、収益(△57→△73)は減少幅がかなり拡大した。販売価格(△24→△10)は下降傾向がかなり弱まり、原材料価格(20→33)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△40→△24)は厳しさがかなり和らいだ。

来期の業況は低調感がやや強まると予想されている。

(3) 出版・印刷・同関連産業

業況(△100→△67)は極端に改善した。売上額(△56→△12)、収益(△59→△20)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格(△18→△13)は下降傾向がやや弱まり、原材料価格(△10→11)は上昇に転じた。資金繰り(△48→△24)は厳しさが極端に和らいだ。

来期の業況は低調感がやや強まると予想されている。

(4) 金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ

業況(△100→△79)は極端に改善した。売上額(△93→△57)、収益(△93→△55)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格(△44→△54)は下降傾向がかなり強まり、原材料価格(9→△19)は上昇から下降に転じた。資金繰り(△73→△62)は厳しさがかなり和らいだ。

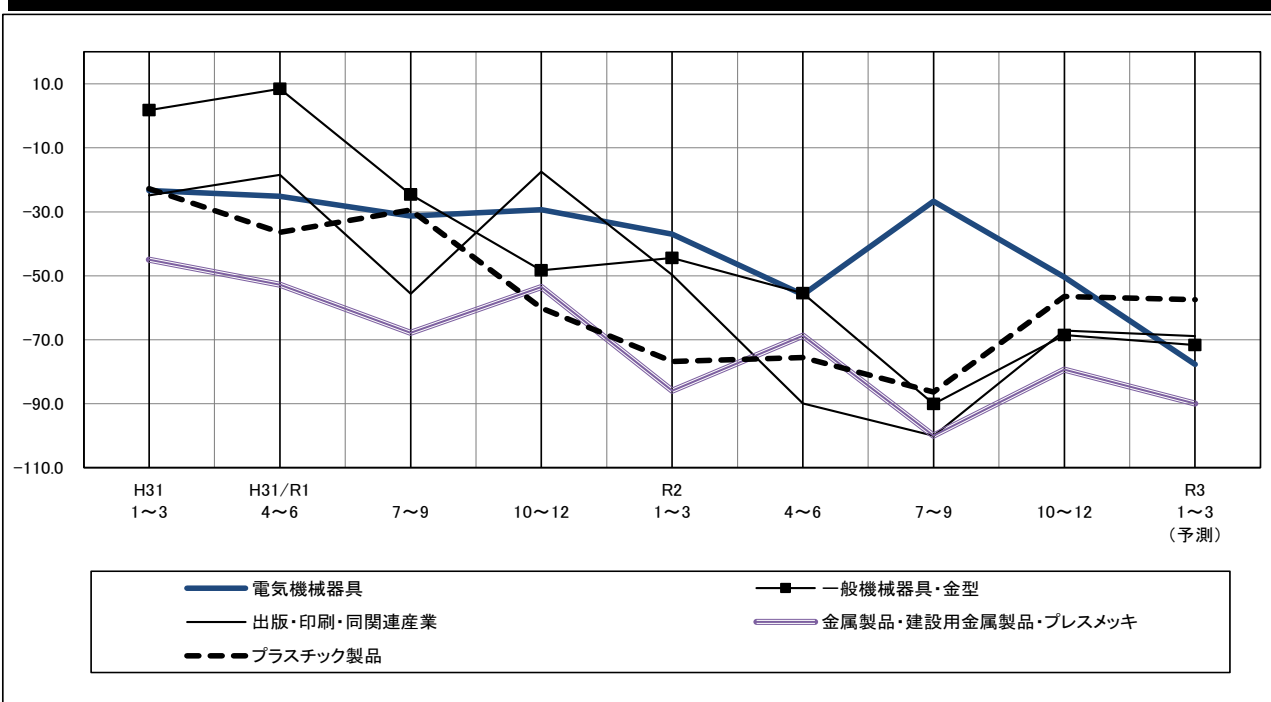
来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(5) プラスチック製品

業況(△86→△56)は極端に改善した。売上額(△88→△39)、収益(△79→△46)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格(△23→△29)は下降傾向がかなり強まり、原材料価格(19→10)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△28→△22)は厳しさがかなり和らいだ。

来期の業況は前期並となると予想されている。

〈製造業〉業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



製造業 業種別コメント

＜電気機械器具＞

1. 受注増、売上増、人材不足、原価増。
2. 特注品なのであまりコロナウイルス等には左右されない。
3. コロナウイルスの影響により、売上の減少、延期。
4. 季節商品が例年通り注文が入り 10～12 月は多少残業も増えているが、年明け 1～3 月は受注が減少する。定番、標準品の注文は低調が続いている。
5. コロナウイルスの影響による受注減での売上の減少が気になる。
6. メインの取引先が車関係の測定器メーカーであるため、コロナウイルスで一度完全に止まったのは痛手だった。車が動き出してきたので今後の動きに期待。

＜一般機械器具・金型＞

1. 競合他社の受注減少により販売価格下落により利益減少の煽り、大手企業の発注減少。
2. 元請の中・大型ゼネコンは未だに、下請けに対し長期手形など支払い方法等が改善されない上、グリーンサイトなどによる書類提出が多く、1 人親方などを束ねる我が社のような、中間業者が時間的費用的に割を食うことになっている。
3. 値下げ要請により収益減少。
4. コロナウイルスの影響で仕事量が大変落ち込みました。弊社は、最近大学関係の仕事が多くなり、3 月～6 月は以前問い合わせていた話が全て立ち消えになり、売上 0 でした。7～8 月より少しずつ持ち直して来ていますが、昨年のようにはありません。
5. 新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が低迷しており、当面、資金繰りが厳しくなっております。
6. 営業することができない。
7. 取扱商品がきわめて特殊なため、景況の動向が出るには時間がかかる。

＜出版・印刷・同関連産業＞

1. コロナウイルスによる経済停滞で、仕事の受注が極端に減っている。
2. 中小、大企業共に仕事量の絶対値が少なくなった。イベント、式典、販促活動の見送りなどが続く。
3. コロナウイルスの影響で受注が減少。
4. 同業者間の競争が激しく、原価ギリギリで入札し、今までの仕事を持っていかれる事が多い。

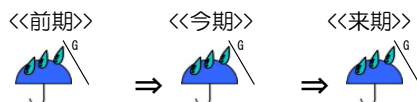
＜金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ＞

1. コロナ禍の影響を強くうけて主力製品の売上が伸びない上、借入金肥大により経営に支障をきたしており、抜本的な改革を必要としている。
2. コロナウイルス感染拡大による景況悪化。
3. 需要が減少・減収・減益が続いている。
4. 受注減・売上少。
5. 売上減少・人件費は削減が難しく、アウトソーシングできる業務は利用活用し、本業の業務は技術継承や生産性を上げる時間管理の調整をし、既存の顧客の受注増を検討中。

＜プラスチック製品＞

1. 受注減による縮小から 1、2 年で閉鎖する。
2. コロナウイルスによるイベント中止でスプレー広告業界の仕事の激減による仕事が少ない事が原因。
3. 減収減益。
4. コロナウイルスによる売上減少により利益減少がきびしい。

卸 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 70 \rightarrow \Delta 62$) はかなり改善した。売上額 ($\Delta 55 \rightarrow \Delta 43$)、収益 ($\Delta 57 \rightarrow \Delta 44$) はともに減少幅がかなり縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は 6 ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格 ($\Delta 19 \rightarrow \Delta 18$) は前期並となり、仕入価格 ($18 \rightarrow 16$) は上昇傾向がやや弱まった。在庫 ($16 \rightarrow 11$) は過剰感がやや改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 12 \rightarrow \Delta 9$) は厳しさがやや和らぎ、借入難易度 ($3 \rightarrow 10$) は容易さがかなり増した。今期借入れをした企業は 46% で前期の 46% から変動がなかった。

経営上の問題点・重点経営施策

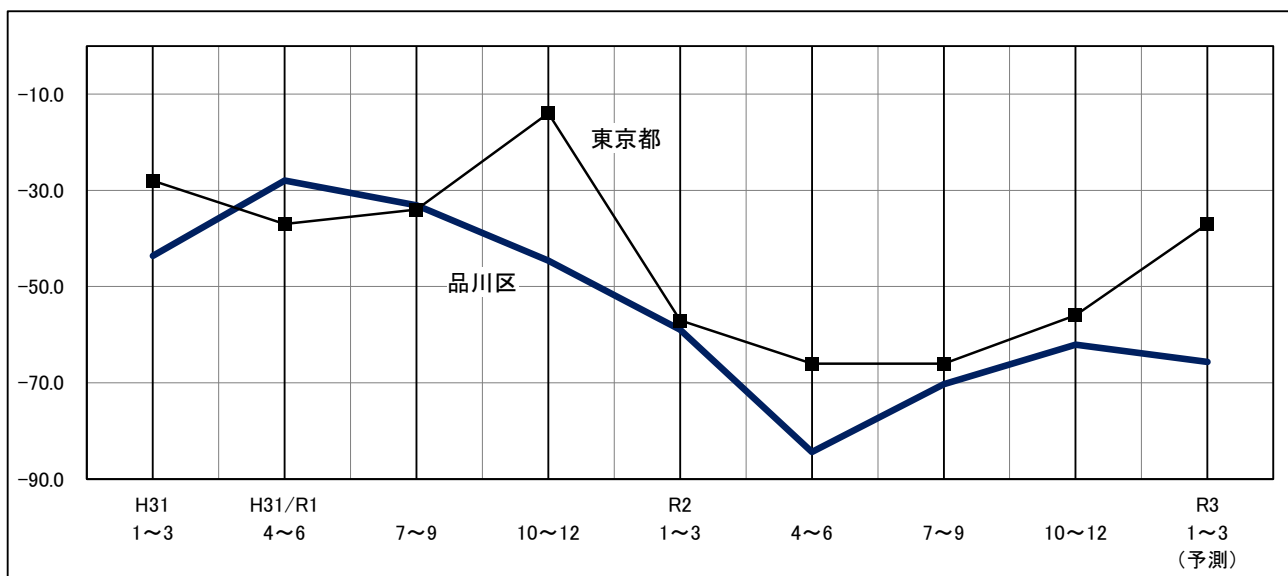
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 69%、2 位は「取引先の減少」が 27%、3 位は「利幅の縮小」と「同業者間の競争の激化」が 19% となった。前期 4 位だった「同業者間の競争の激化」が、今期 3 位と順位を上げた。

重点経営施策は、1 位は「販路を広げる」が 69%、2 位は「経費を節減する」が 41%、3 位は「情報力を強化する」が 28% となった。前期と比べ、上位 3 項目に変動はなかった。

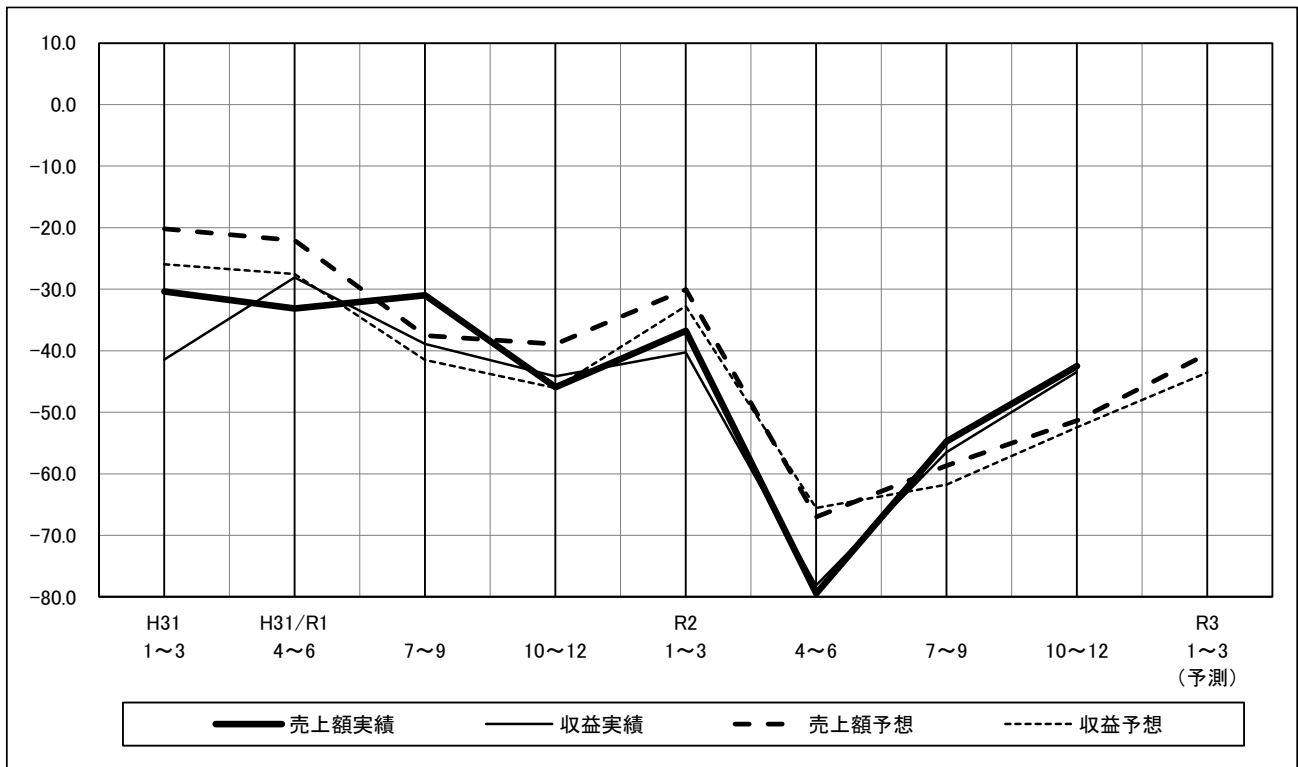
来期の見通し

業況 ($\Delta 62 \rightarrow \Delta 66$) は低調感がやや強まる見込み。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は今期並になると予想されている。

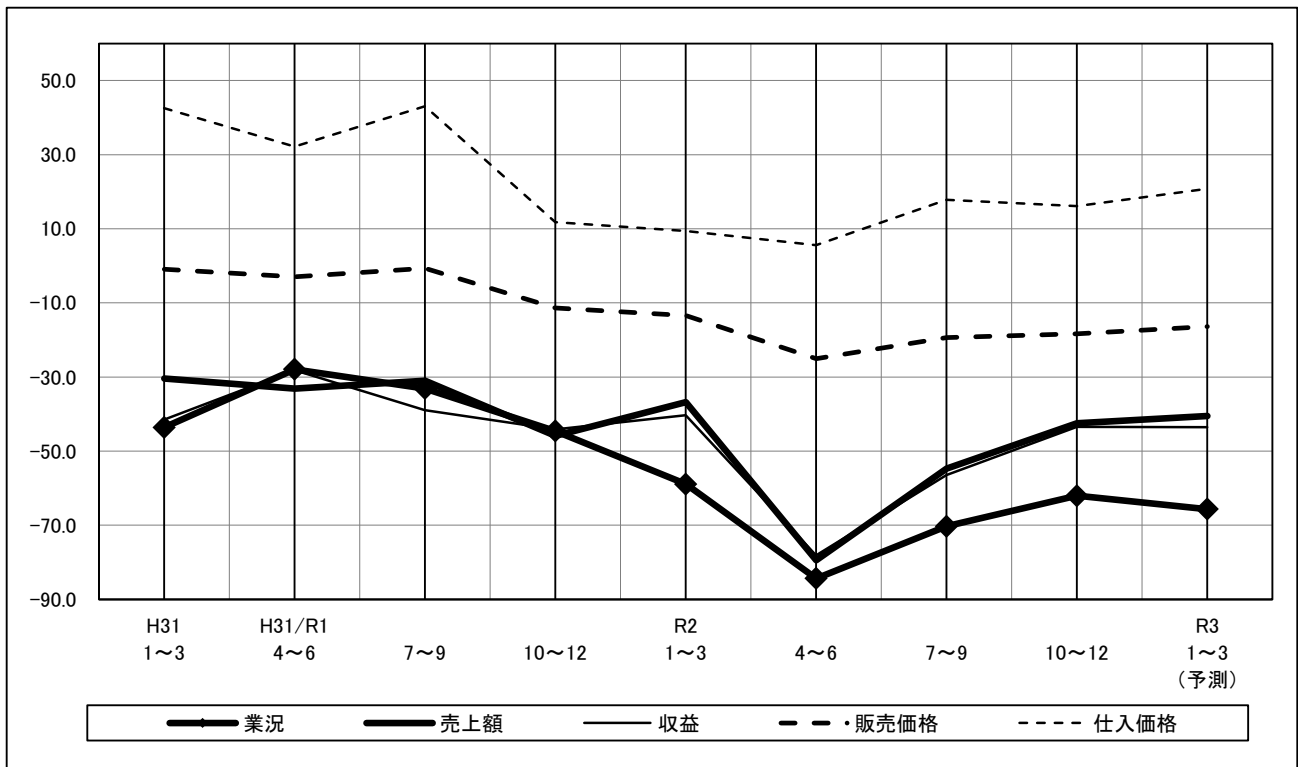
〈卸売業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



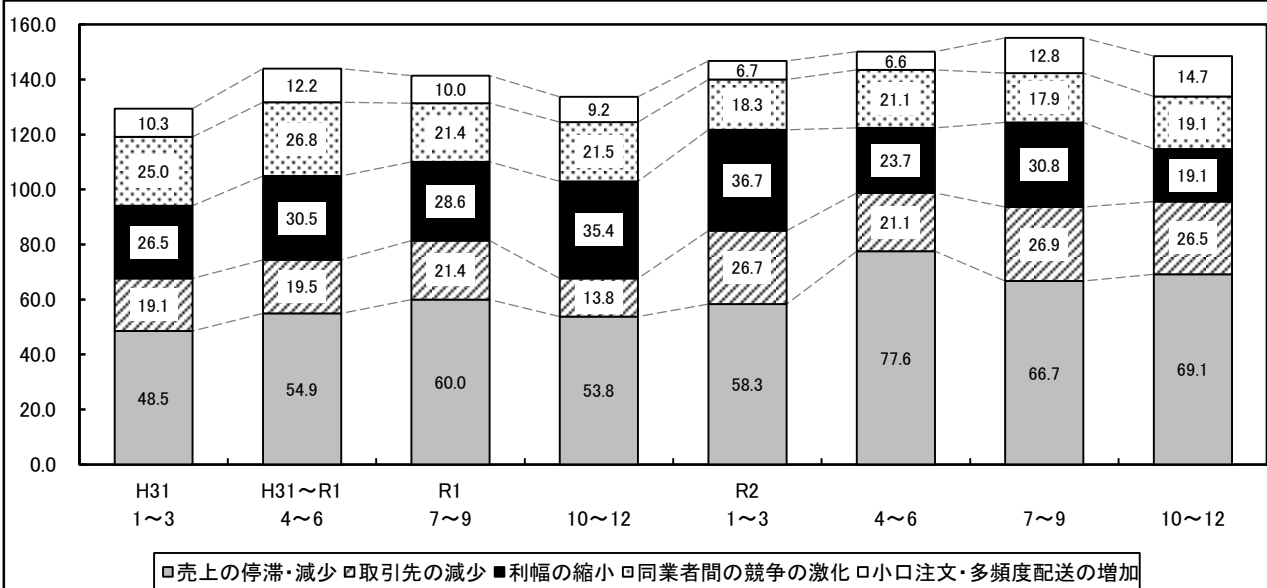
〈卸売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

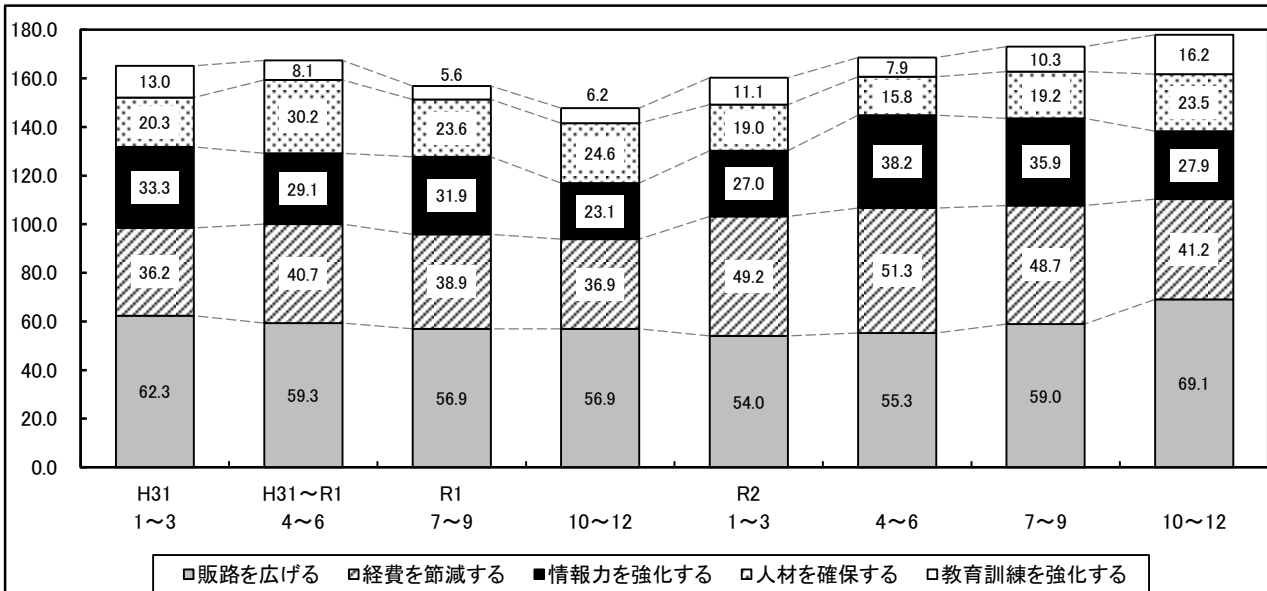


〈卸売業〉 経営上の問題点（％）



	R2.1~3月期		R2.4~6月期		R2.7~9月期		R2.10~12月期	
第1位	売上上の停滞・減少	58.3 %	売上上の停滞・減少	77.6 %	売上上の停滞・減少	66.7 %	売上上の停滞・減少	69.1 %
第2位	利幅の縮小	36.7 %	利幅の縮小	23.7 %	利幅の縮小	30.8 %	取引先の減少	26.5 %
第3位	取引先の減少	26.7 %	同業者間の競争の激化	21.1 %	取引先の減少	26.9 %	利幅の縮小	19.1 %
第4位	同業者間の競争の激化	18.3 %	人件費の増加	10.5 %	同業者間の競争の激化	17.9 %	同業者間の競争の激化	19.1 %
第5位	為替レートの変動	13.3 %	流通経路の変化による競争の激化	9.2 %	人手不足	14.1 %	小口注文・多頻度配送の増加	14.7 %
							合理化の不足	11.8 %

〈卸売業〉 重点経営施策（％）

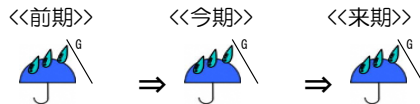


	R2.1~3月期		R2.4~6月期		R2.7~9月期		R2.10~12月期	
第1位	販路を広げる	54.0 %	販路を広げる	55.3 %	販路を広げる	59.0 %	販路を広げる	69.1 %
第2位	経費を節減する	49.2 %	経費を節減する	51.3 %	経費を節減する	48.7 %	経費を節減する	41.2 %
第3位	情報力を強化する	27.0 %	情報力を強化する	38.2 %	情報力を強化する	35.9 %	情報力を強化する	27.9 %
第4位	人材を確保する	19.0 %	品揃えを充実する	15.8 %	人材を確保する	19.2 %	人材を確保する	23.5 %
第5位	品揃えを充実する	17.5 %	新しい事業を始める	10.5 %	品揃えを充実する	10.3 %	教育訓練を強化する	16.2 %
					教育訓練を強化する	10.3 %		

卸売業 業種別コメント

1. コロナ禍の影響で景気が不透明である。
2. イタリアから輸入が100%。現地に仕入れに行けない為商品が揃わない。
3. 人の移動が増えないとバッグは売れない。需要減少による競争激化は始まったばかり。
4. コロナウイルスの影響により仕入（海外）がストップしたため売上減。
5. コロナウイルス感染症の影響もあり取引先の規模縮小や事業部の閉鎖等、又、廃業の個人店舗等が増加し売上確保が厳しい状況であり商品の仕入先（メーカー）も事業縮小等により全体MDの修正も急務になっている。
6. コロナウイルスで売上ダウン。テレワークの準備。
7. コロナウイルスの影響で、飲食店など今回補助金←時短は出ますが、仲卸売には何もありません。八百屋さん魚屋さんなど納め（卸売）の商売は、厳しい立場に立たされています。いつまで営業出来るか不安の日々です。
8. 回転すしはある程度好調だが、業務用は減少している。
9. コロナウイルスの影響で、国内・海外共に人が動かない。特に土産物は当然動かない。売上減少。早くコロナウイルスが終息してほしい。
10. 取引先の客数減。
11. 主要取引先から安定して受注を確保している。
12. 本年は昨年並みとなっているが、来年以降の受注残は少ないと思う。全体の景況感に左右されると考えられる。
13. コロナ禍の中、先行き不透明な状況である。在庫を減らして、資金繰り重視の対応を図る。
14. コロナウイルスにより売上に寄与してきたイベントができない。海外への輸出が停滞している。
15. 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、取引企業の廃業と売上減少に直面しており、今後も厳しい状況が続くと思われる。
16. 町工場の減少。
17. 新型コロナウイルスの影響で仕事量が不安定です。大手企業から中小企業への仕事の流れが悪い。
18. 工場の設備投資が減少し、大口受注件数が減っている。
19. コロナ禍により、設備投資を控えていた企業が、設備投資を復活し始め、受注増となっている。
20. 新型コロナウイルスの影響による積極的な営業活動が制限された為売上が伸びなかった。
21. コロナ禍の為需要が停滞している。
22. 売上低下。コロナウイルス影響により市況低迷しているため。
23. コロナ禍による営業面での課題。
24. コロナ禍で取引先主力中国工場の人手不足が解消出来ず、よって生産量が上がらず、受注量が伸びない。
25. 一時的受注減に対し、人員増員コストがかさんでいる。
26. 新型コロナウイルス感染症の影響で、取引先の売上が大きく減少し、当社の売上もそれにつれて減少した。
27. 在庫が増え気味、調整必要、資金繰りに問題はないが、新しい製品の在庫負担が今後の問題。
28. 前年に比べ、売上、利益とも減収傾向（需要減少）。
29. 前期（令和2年7月～9月期）と同様に、コロナウイルスの影響が原因で販売不振の状況が続いている。先が見えない。
30. 新型コロナウイルスの中、ほとんどがコンビニ関係の商売となっていますが、売上の影響としてはプラスにはたっている様子。
31. 取引が減少しているため、すべての点に問題が出ている。例えば、利益、在庫、企業の生存が不可能になる可能性があり。
32. 年末に入り繁忙期となり前年程ではないが需要が増えている。しかしコロナウイルスの第3波の感染増で先行きが不透明、例年1～2月が閑散期となり、コロナウイルスの動静も有り注視しています。
33. 大手の客先はさほど売上高の減少はないが、小企業客先の売上が減少している。
34. 需要が減り、減収減益が続いている。
35. 市場変化に対応し、新規予算に取り組み、成果を挙げること。

小 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 74 \rightarrow \Delta 66$) はかなり改善した。売上額 ($\Delta 11 \rightarrow \Delta 41$)、収益 ($\Delta 25 \rightarrow \Delta 48$) はともに減少幅が極端に拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は同一となっている。

価格・在庫動向

販売価格 ($\Delta 4 \rightarrow \Delta 10$) は下降傾向がかなり強まり、仕入価格 ($24 \rightarrow 10$) は上昇傾向がかなり弱まった。在庫 ($4 \rightarrow 10$) は過剰感がかなり強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 29 \rightarrow \Delta 42$) は厳しさがかなり増し、借入難易度 ($10 \rightarrow 12$) は容易さがやや増した。今期借入れをした企業は 59% で前期の 64% から 5 ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

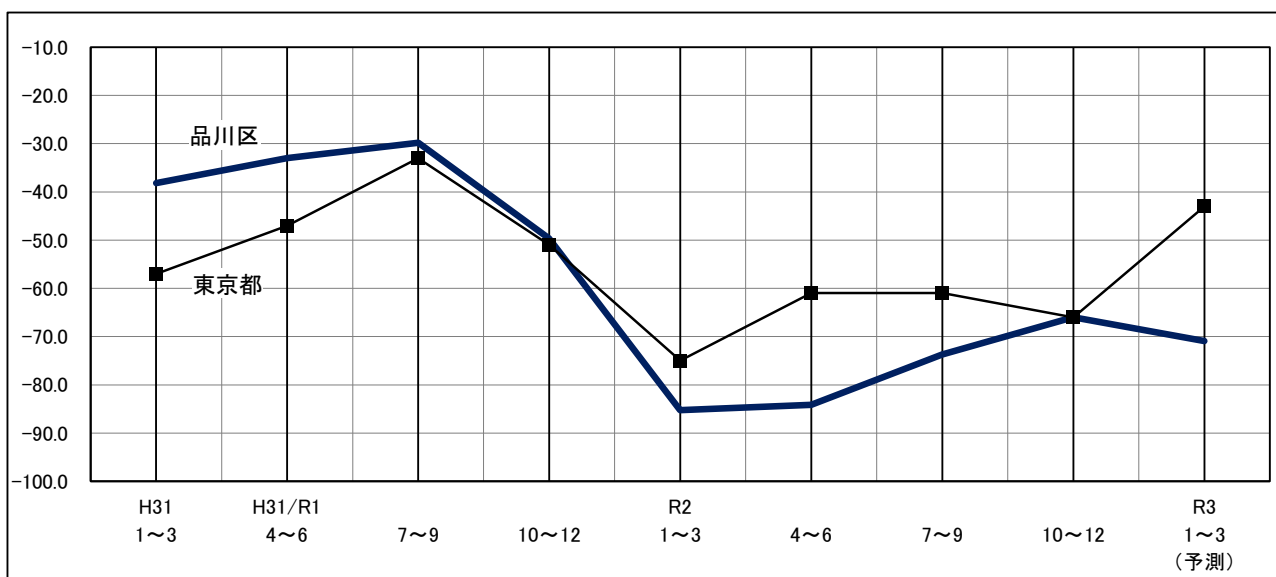
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 88%、2 位は「商店街の集客力の低下」が 31%、3 位は「利幅の縮小」が 24% となった。前期 3 位だった「商店街の集客力の低下」が、今期 2 位となり順位を上げた。

重点経営施策は、1 位は「経費を節減する」が 73%、2 位は「品揃えを改善する」が 32%、3 位は「宣伝・広報を強化する」が 22% となった。前期 4 位だった「宣伝・広報を強化する」が、今期 3 位となり順位を上げた。

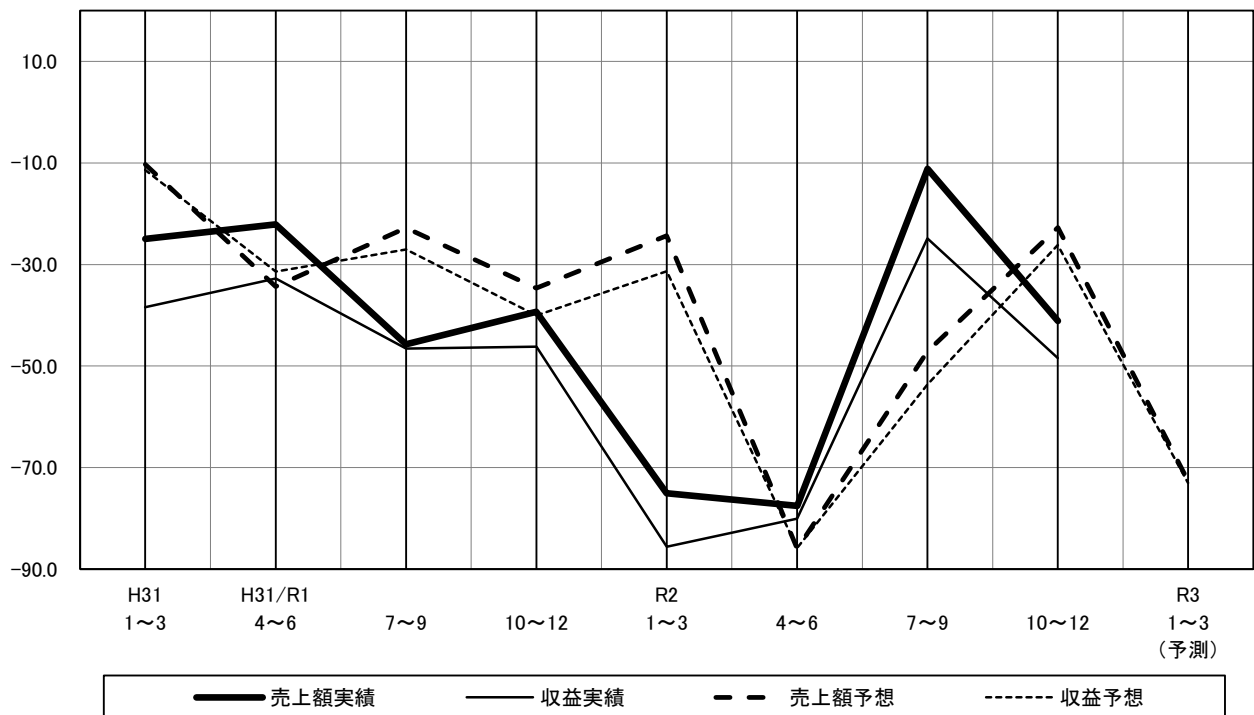
来期の見通し

業況 ($\Delta 66 \rightarrow \Delta 71$) は低調感がやや強まる見込み。売上額、収益はともに減少幅が極端に拡大すると予想されている。

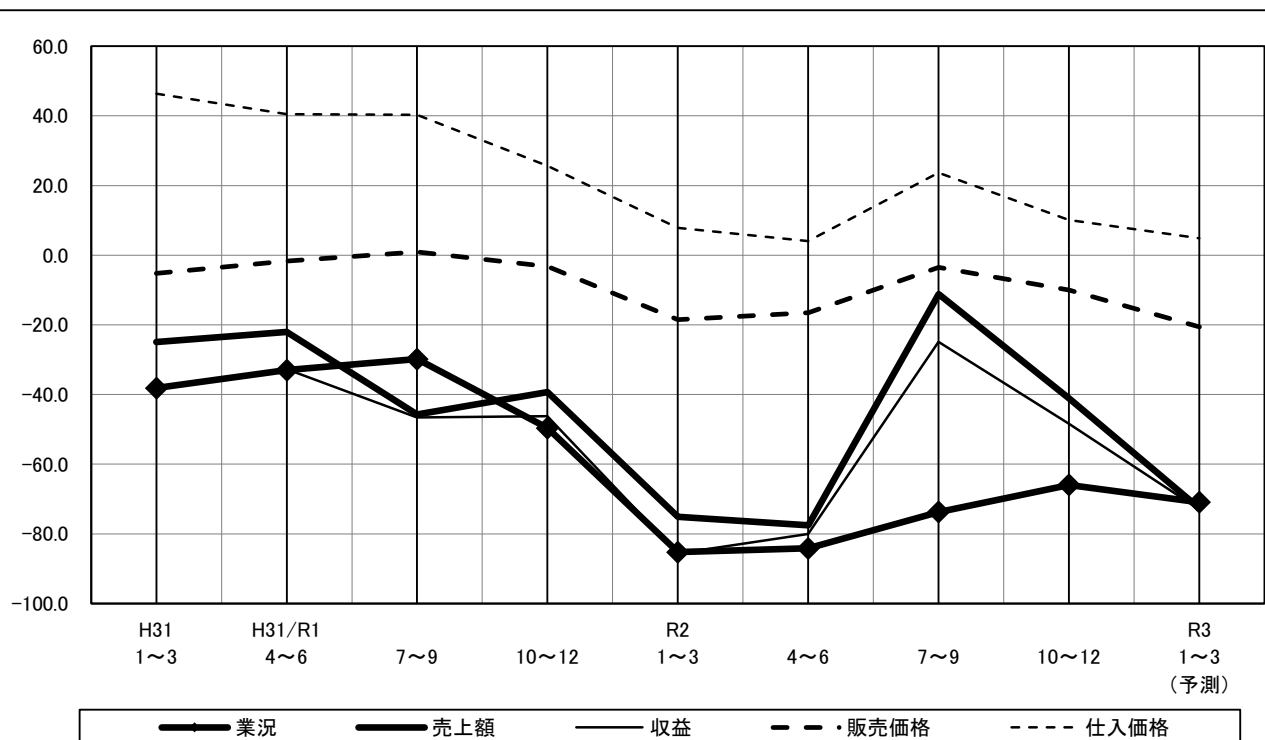
〈小売業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



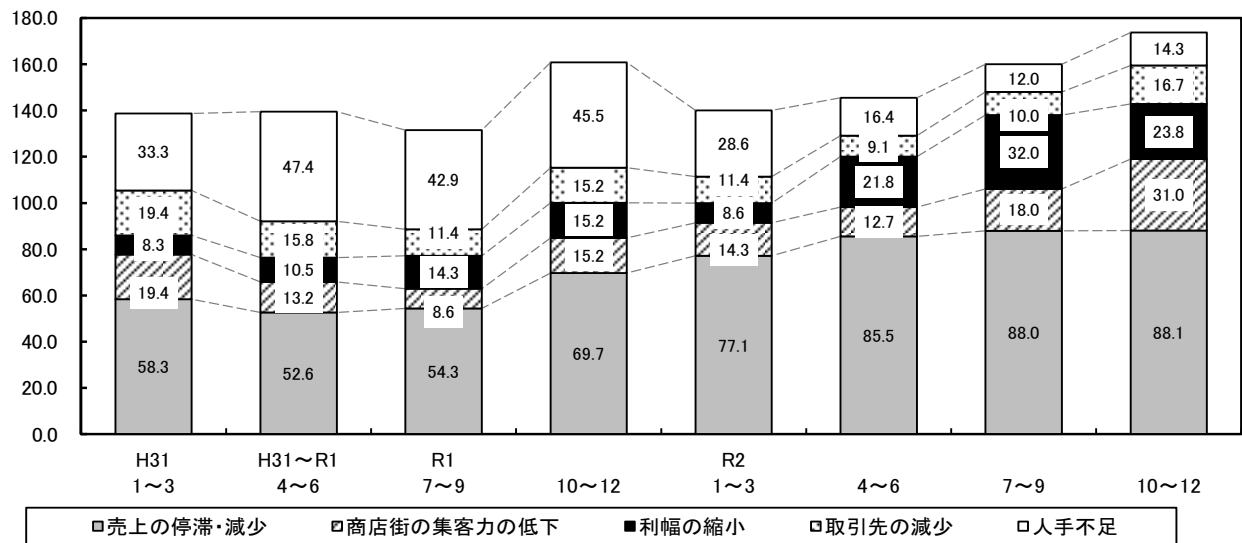
〈小売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

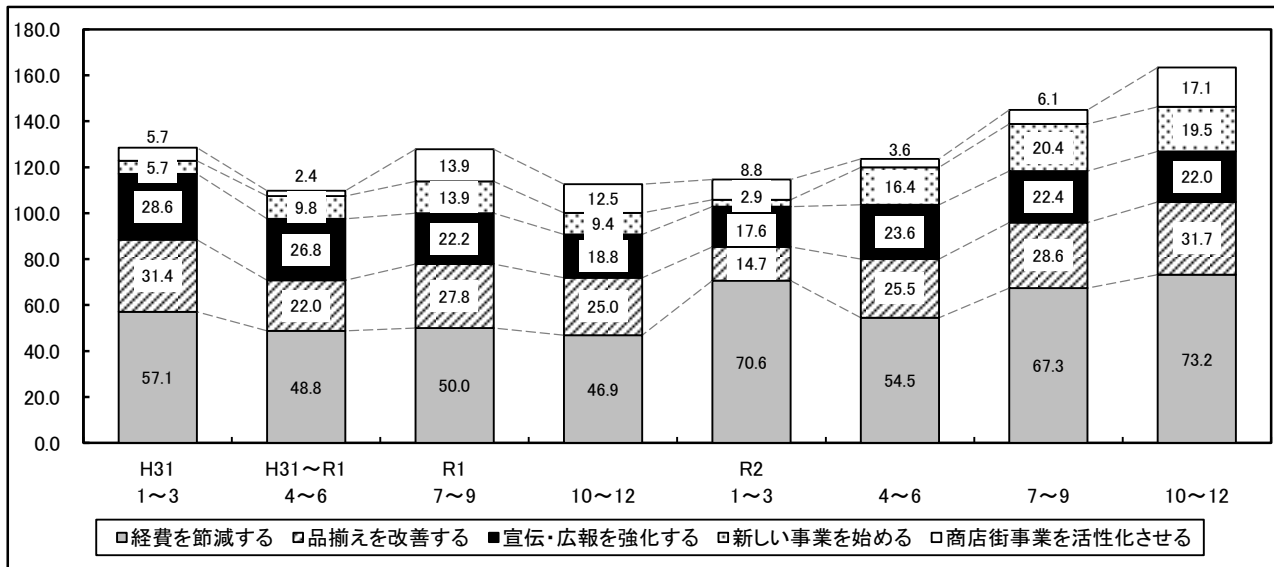


〈小売業〉 経営上の問題点（％）



	R2.1~3月期		R2.4~6月期		R2.7~9月期		R2.10~12月期	
第1位	売上停滞・減少	77.1 %	売上停滞・減少	85.5 %	売上停滞・減少	88.0 %	売上停滞・減少	88.1 %
第2位	その他	34.3 %	利幅の縮小	21.8 %	利幅の縮小	32.0 %	商店街の集客力の低下	31.0 %
第3位	人手不足	28.6 %	その他	18.2 %	商店街の集客力の低下	18.0 %	利幅の縮小	23.8 %
第4位	人件費の増加	22.9 %	人手不足	16.4 %	人手不足	12.0 %	取引先の減少	16.7 %
第5位	天候の不順	17.1 %	天候の不順	14.5 %	人件費の増加 同業者間の競争の激化	12.0 % 12.0 %	人手不足	14.3 %
					天候の不順 取引先の減少	10.0 % 10.0 %		

〈小売業〉 重点経営施策（％）



	R2.1~3月期		R2.4~6月期		R2.7~9月期		R2.10~12月期	
第1位	経費を節減する	70.6 %	経費を節減する	54.5 %	経費を節減する	67.3 %	経費を節減する	73.2 %
第2位	人材を確保する	20.6 %	品揃えを改善する	25.5 %	品揃えを改善する	28.6 %	品揃えを改善する	31.7 %
第3位	宣伝・広報を強化する	17.6 %	宣伝・広報を強化する	23.6 %	売れ筋商品を取扱う	24.5 %	宣伝・広報を強化する	22.0 %
第4位	品揃えを改善する	14.7 %	売れ筋商品を取扱う	21.8 %	宣伝・広報を強化する	22.4 %	新しい事業を始める	19.5 %
第5位	店舗・設備を改装する	11.8 %	新しい事業を始める	16.4 %	新しい事業を始める	20.4 %	商店街事業を活性化させる	17.1 %
	仕入先を開拓・選別する	11.8 %						
	特になし	11.8 %						

(1) 飲食料品

業況(△27→△28)は前期並となった。売上額(1→△17)は増加から減少に転じ、収益(△14→△31)は減少幅がかなり拡大した。販売価格(17→△3)は上昇から下降に転じ、仕入価格(22→12)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△17→△25)は厳しさがかなり増した。

来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(2) 飲食店

業況(△97→△91)はかなり改善した。売上額(△3→△70)、収益(△19→△68)はともに減少幅が極端に拡大した。販売価格(△6→△13)は下降傾向がかなり強まり、仕入価格(32→12)は上昇傾向が極端に弱まった。資金繰り(△32→△60)は厳しさが極端に増した。

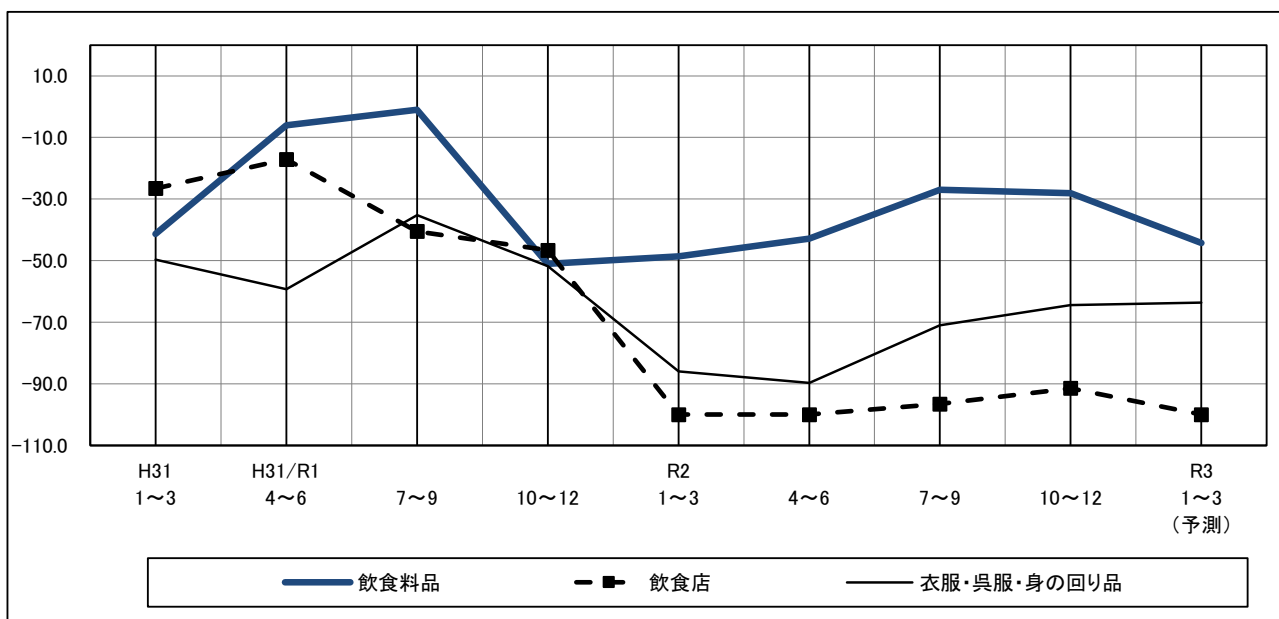
来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(3) 衣服・呉服・身の回り品

業況(△71→△64)はかなり改善した。売上額(△31→△32)は前期並、収益(△40→△43)は減少幅がやや拡大した。販売価格(△12→△12)は前期並となり、仕入価格(14→5)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△32→△33)は前期並となった。

来期の業況は前期並になると予想されている。

〈小売業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



小売業 業種別コメント

＜飲食料品＞

1. 当社はテナント事業ですがテナントで入っている小売店の閉鎖が続いており、たいへん困惑している。売上が大激減。
2. コロナウイルスの影響が大きい。
3. 酒類の免許実質自由化により、大手スーパー・ディスカウント等の参入による販売価格は当店の仕入価格より低価格であり、対応不能です。よって来期は、酒類の販売以外の事業を考える必要があると思っています。
4. 会社がテレワーク等の為お客が減った。イベント等がない為売上が落ちた。
5. 10 年来の社会的な低価格志向と 1 人あたりの消費量の減少、ならびに家事のアウトソーシング化などにより恒常的に売上ならびに利益の確保がむずかしい状態が続いている。そこにコロナ禍の飲食店の苦境はそのまま、当社に追い打ちをかけている。
7. 10 月～11 月半ばまでは Go To Eat による来客が増えたが一時的なもので、すぐに元通りキャンセルが相次いでいます。テイクアウト等で何とかしのいでいる今日この頃です。
8. コロナウイルスの影響による時間短縮や休業のため売上が減少した。
9. 新型コロナウイルスの影響でテレワーク等が増加し、来店客減少。
10. 打つ手なし。消費税なくしてほしい。
11. コロナ禍によりお客様の来店自粛の傾向。宴会予約ほぼなし。
12. 飲食店（都内 3 店）が成り立たない状況である。

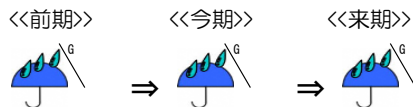
＜飲食店＞

1. 商店街自体の集客が大幅に減っている。
2. コロナウイルスの第 3 波がきて、11 月後半から 12 月にかけて、キャンセルがかなり増加している。テイクアウトはまた増えてきているが、今後が不安です。
3. コロナウイルスによる利用規制等により、現営業の先行きが見えない。
4. 商品のマンネリ化を改善する必要があり、ネット販売、情報提供がうまくいかない。
5. コロナ禍において集客が非常に難しい。営業自粛、時短など協力しているが売上は約 3 割減の状態。
6. 時短営業やコロナウイルスの影響で 12 月から一気に悪化している。

＜衣服・呉服・身の回り品＞

1. コロナの影響で通夜ができないため貸ふとんが全くでません。今後更に苦しくなる見込みです。
2. 令和 2 年はコロナの影響で、中国より荷が遅れ、品揃えは少なく、又、外出制限などがあり、出かけなければ衣料品は必要がない為、売上はかなり落ちた。徐々に寒くなり昨年の 11 月より売上は前年とほぼ同じにはなったが、今年はどうなるか予測出来ない。
3. 不要不急の外出はしないという意識が購買に影響している。来店客数の激減のため資金繰りに影響が出ている。なんとかこのような状況を改善しない限り、小売業は大変な状況になると思う。
4. コロナ禍での生活様式の変化が大きい。ビジネスシューズが中心の販売に危機。
5. 元々アクセサリー・ジュエリーにとって 12 月は繁忙期のため、増減については一概に言えないが、例年と比較すると厳しい現状。

サービス業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△68→△70)は低調感がやや強まった。売上額(△34→△48)は減少幅がかなり拡大し、収益(△43→△47)は減少幅がやや拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は22ポイント下回っている。

価格・在庫動向

料金価格(△15→△18)は下降傾向がやや強まり、材料価格(3→6)は上昇傾向がやや強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△34→△34)は前期並となり、借入難易度(△10→△5)はやや改善した。今期借入れをした企業は37%で前期の32%から5ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

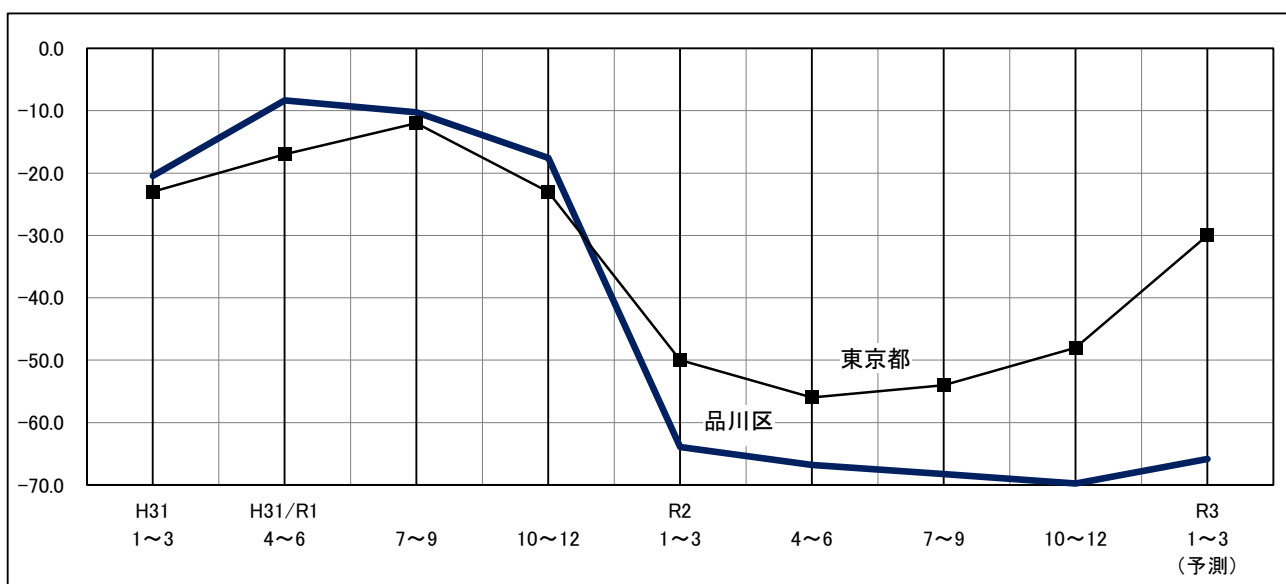
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が62%、2位は「人手不足」が34%、3位は「人件費の増加」が20%となった。前期同率3位だった「利幅の縮小」は今期4位となり順位を下げたが、他の上位3項目に変動はなかった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が48%、2位は「販路を広げる」が36%、3位は「人材を確保する」が33%となり、上位3項目に変動はなかった。

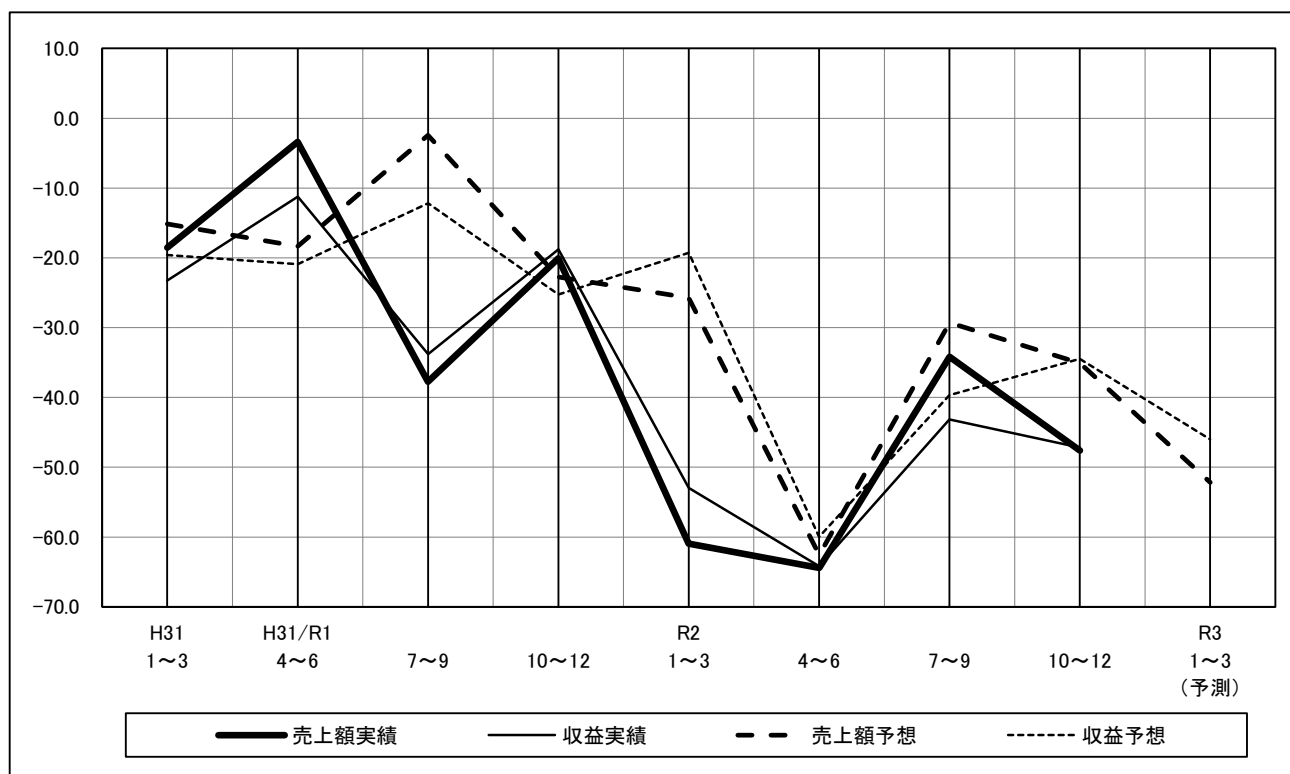
来期の見通し

業況(△70→△66)はやや改善する見込み。売上額は減少幅がやや拡大し、収益は今期並になると予想されている。

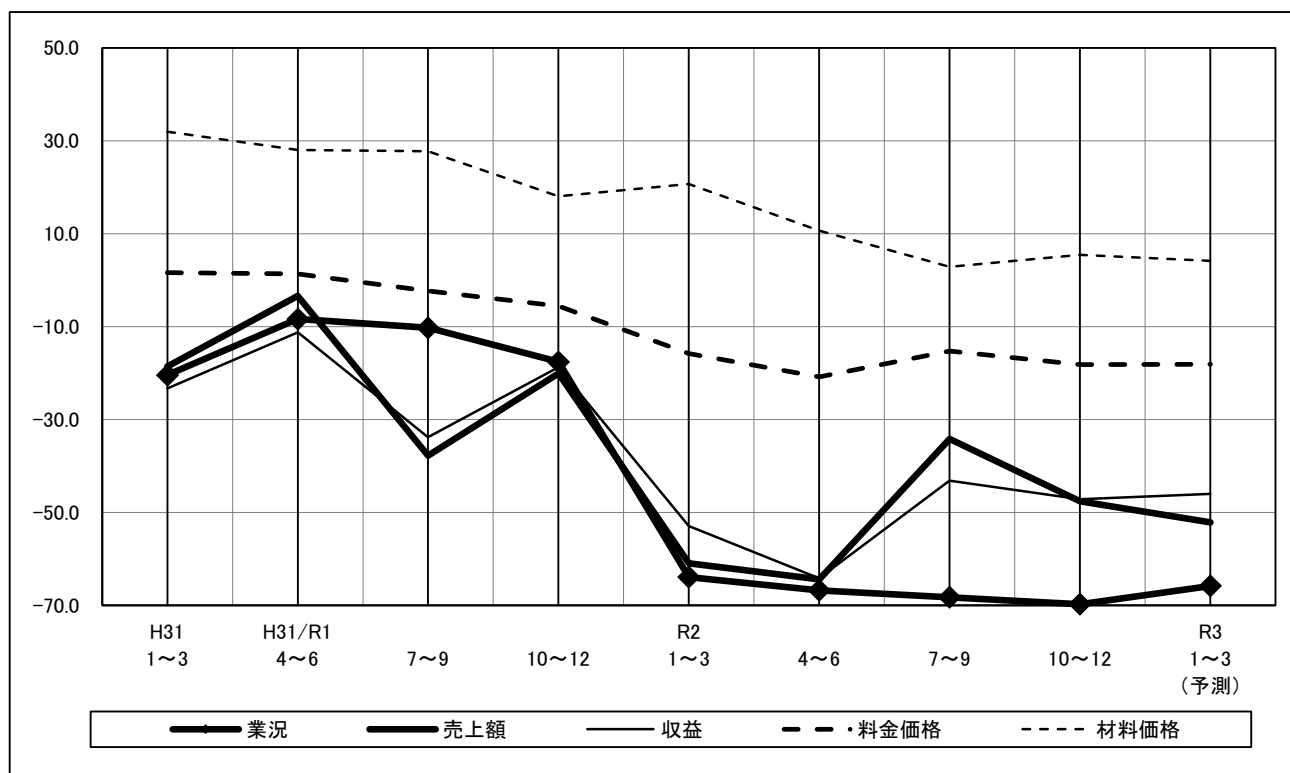
〈サービス業〉品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



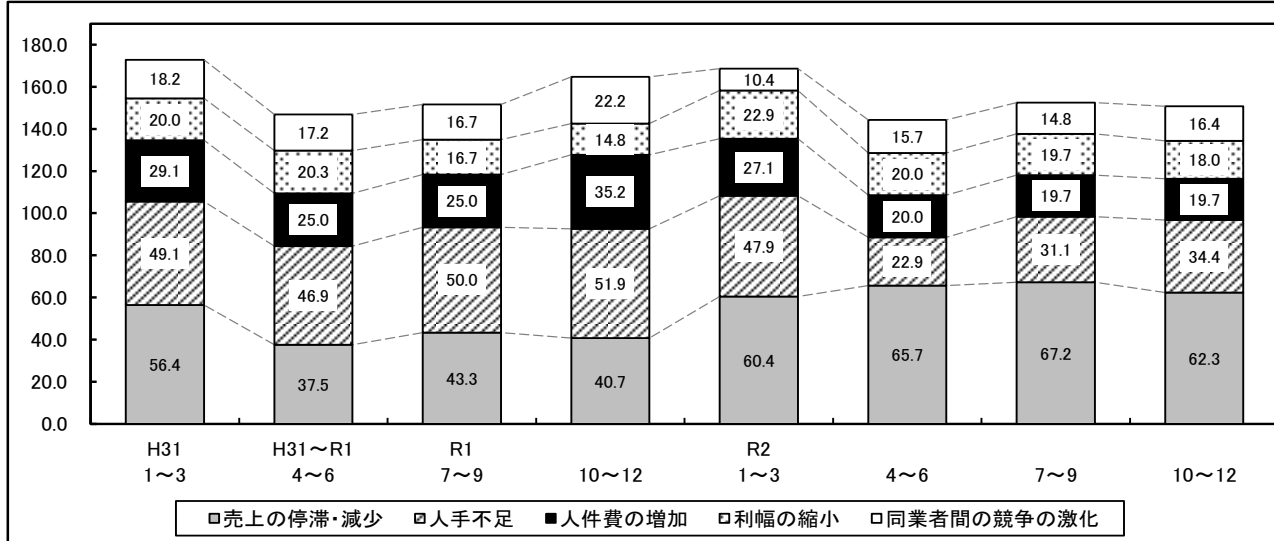
〈サービス業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

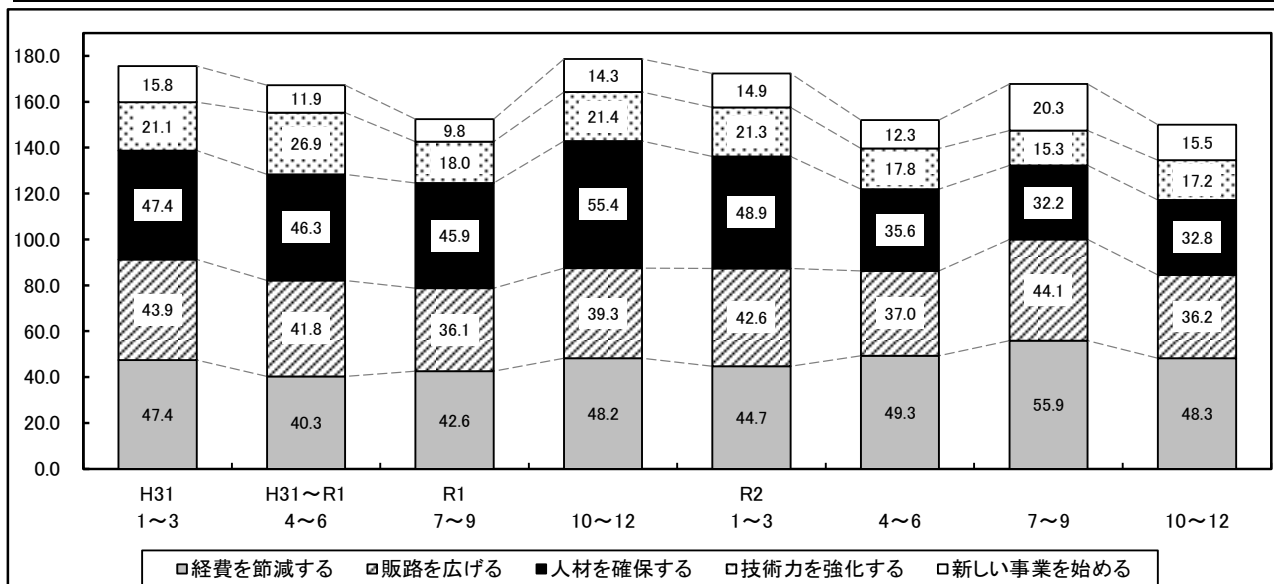


〈サービス業〉 経営上の問題点（％）



	R2.1～3月期		R2.4～6月期		R2.7～9月期		R2.10～12月期	
第1位	売上停滞・減少	60.4 %	売上停滞・減少	65.7 %	売上停滞・減少	67.2 %	売上停滞・減少	62.3 %
第2位	人手不足	47.9 %	人手不足	22.9 %	人手不足	31.1 %	人手不足	34.4 %
第3位	人件費の増加	27.1 %	利幅の縮小	20.0 %	利幅の縮小	19.7 %	人件費の増加	19.7 %
			人件費の増加	20.0 %	人件費の増加	19.7 %		
第4位	利幅の縮小	22.9 %	同業者間の競争の激化	15.7 %	同業者間の競争の激化	14.8 %	利幅の縮小	18.0 %
第5位	人件費以外の経費の増加	10.4 %	その他	11.4 %	取引先の減少	13.1 %	同業者間の競争の激化	16.4 %
	技術力の不足	10.4 %						
	取引先の減少	10.4 %						
	同業者間の競争の激化	10.4 %						

〈サービス業〉 重点経営施策（％）



	R2.1～3月期		R2.4～6月期		R2.7～9月期		R2.10～12月期	
第1位	人材を確保する	48.9 %	経費を節減する	49.3 %	経費を節減する	55.9 %	経費を節減する	48.3 %
第2位	経費を節減する	44.7 %	販路を広げる	37.0 %	販路を広げる	44.1 %	販路を広げる	36.2 %
第3位	販路を広げる	42.6 %	人材を確保する	35.6 %	人材を確保する	32.2 %	人材を確保する	32.8 %
第4位	技術力を強化する	21.3 %	技術力を強化する	17.8 %	新しい事業を始める	20.3 %	技術力を強化する	17.2 %
第5位	宣伝・広告を強化する	14.9 %	教育訓練を強化する	13.7 %	技術力を強化する	15.3 %	新しい事業を始める	15.5 %
	新しい事業を始める	14.9 %					教育訓練を強化する	15.5 %
	教育訓練を強化する	14.9 %						

サービス業 業種別コメント

1. 人材確保に努めているが求人がうまくいかない。新卒者を教育訓練して技術者を育てることは売上にすぐにはつながらない。今は労働条件の改善に力を入れている。美容室ですが昼休みは店を閉めています。
2. 3月から売上停滞により減収が続いている。
3. 2020年3月からコロナウイルスにより売上ゼロ。経営はひっ迫しています。廃業か倒産か。
4. コロナ禍における取引先の事業縮小。
5. 仕事自体の減少。
6. コロナウイルス感染防止策に会議室内にアクリル板を導入。衛生環境を良くする為、空気清浄機を導入。コロナウイルス対策に今までにない経費を要した。
7. 令和2年2月～8月コロナウイルスの影響で売上減少。9月以降に挽回したい。
8. お客様がかなりシビアになっており利幅が少ない。時間がかかる（部品の見積もり、工賃の見積もりに）。
9. コロナウイルスによる取引先の業績悪化の影響が出ている。
10. 新型コロナウイルスの影響で注文が減少している。
11. とにかく新型コロナウイルスの状況が改善されない限り、計画をたてることすらままならない状況です。
12. 前期と同様の売上収益を維持していますが、コロナ禍で先行の不透明感に不安を覚えています。
13. 人件費の増加（有給など）。
14. フランチャイズを辞めて独立営業となったのでロイヤリティ等の経費がなくなった反面、紹介案件がなくなり、売上に少し影響が出る。
15. 人手不足→広告料増→経費増の悪循環。
16. 前期が売上と利益で過去最高となっている。今期は平年比-5～10%位を予想している。人手不足が大きい。
17. コロナウイルスに加え、円高の影響が出ると思われる。
18. コロナ禍を乗り越えるのみ。
19. コロナ禍においての減収、減益が続く。
20. 新しい事業への路線変更。

建設業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△63→△58)はやや改善した。売上額(△46→△42)は減少幅がやや縮小し、施工高(△47→△41)は減少幅がかなり縮小した。収益(△51→△50)は前期並となった。

価格・在庫動向

請負価格(△38→△33)は下降傾向がやや弱まり、材料価格(19→17)は前期並となった。在庫(7→4)は過剰感がやや改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△28→△24)は厳しさがやや和らぎ、借入難易度(3→4)は前期並となった。今期借入れをした企業は31%で前期の38%から7ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

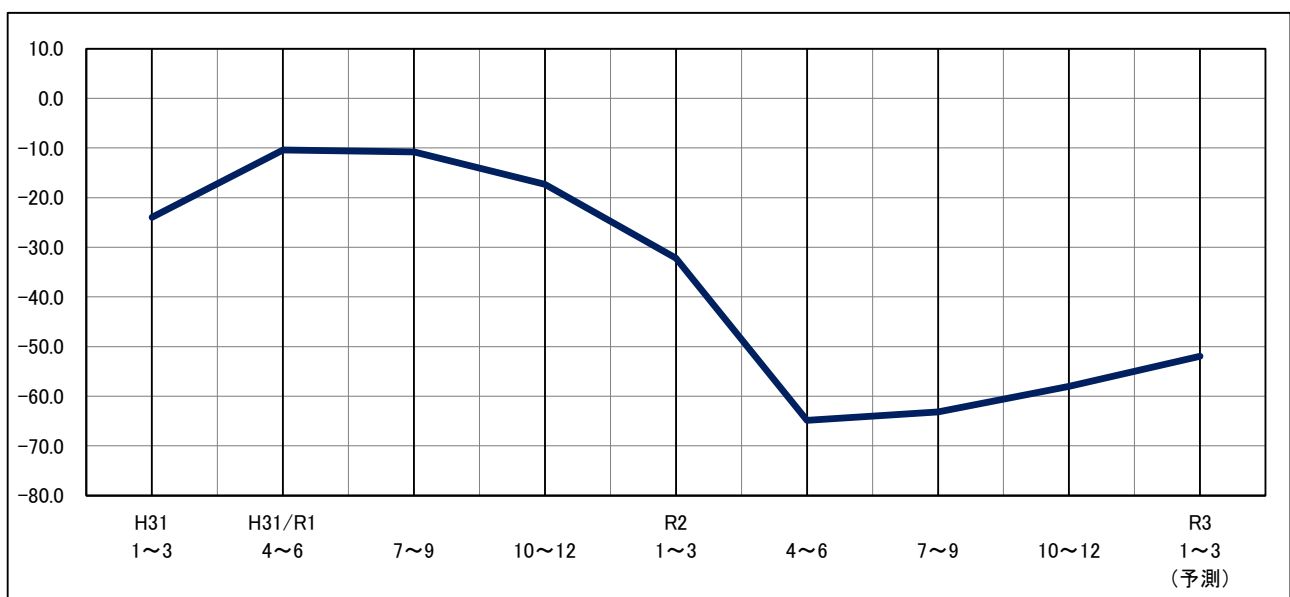
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が52%、2位は「人手不足」が33%、3位は「利幅の縮小」が31%となり、上位3項目に変動はなかった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」と「人材を確保する」が40%、2位は「技術力を高める」と「販路を広げる」が36%、3位は「情報力を強化する」が24%となった。前期4位だった「販路を広げる」と「情報力を強化する」が、今期2位と3位に順位を上げた。

来期の見通し

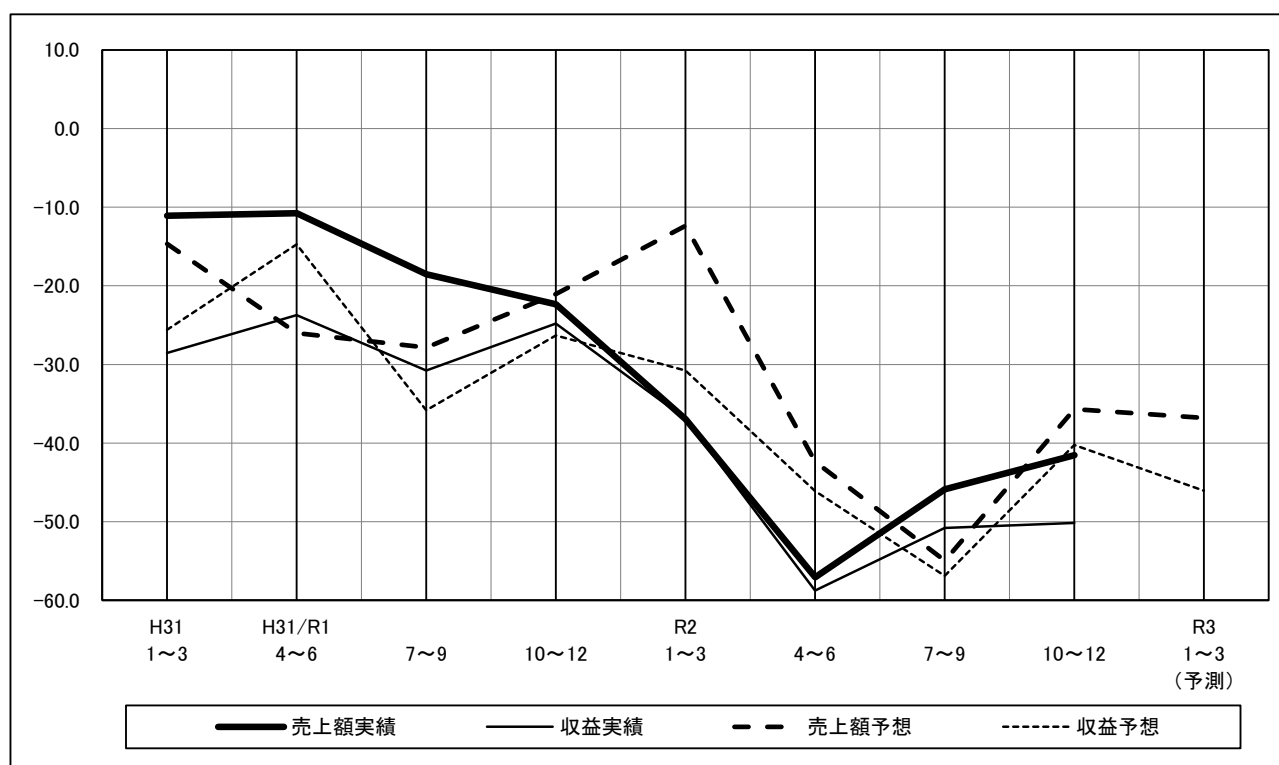
業況(△58→△52)はかなり改善する見込み。売上額、収益はともに減少幅がやや縮小すると予想されている。

〈建設業〉品川区の業況の動き(実績)と来期の予測

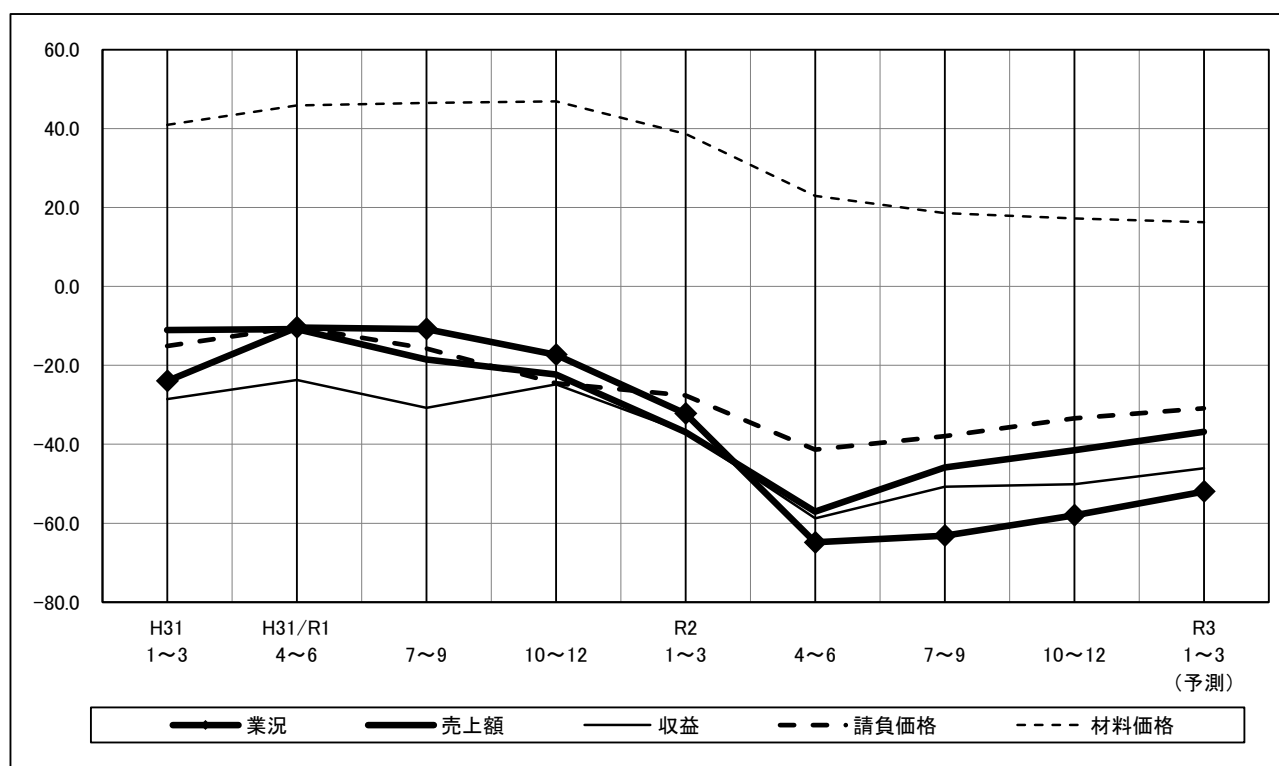


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、全都の建設業の業況は表示していない。

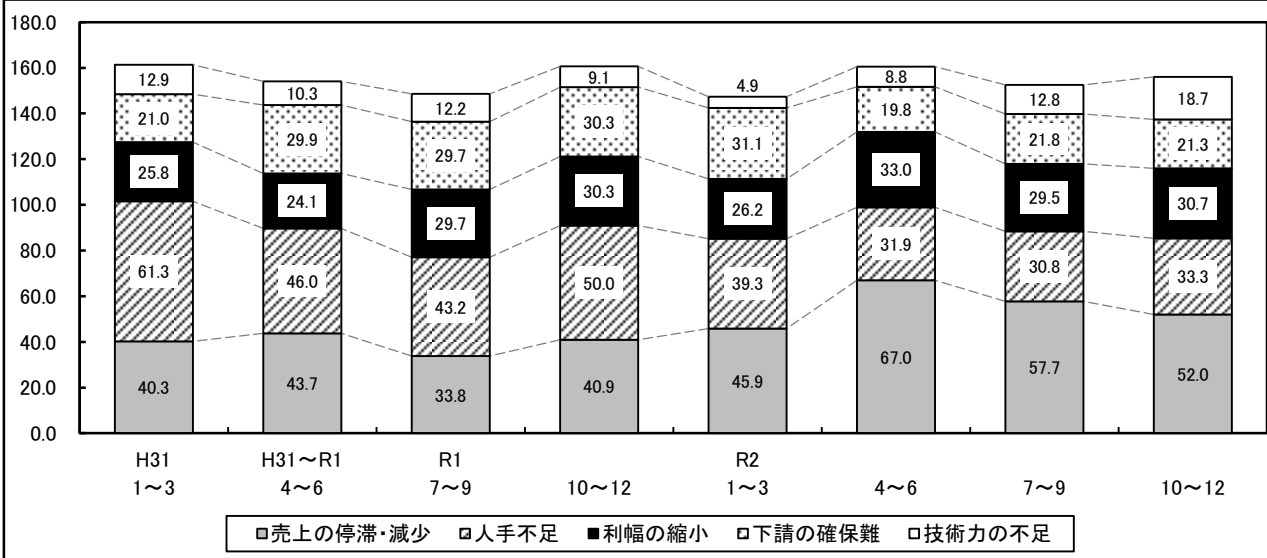
〈建設業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

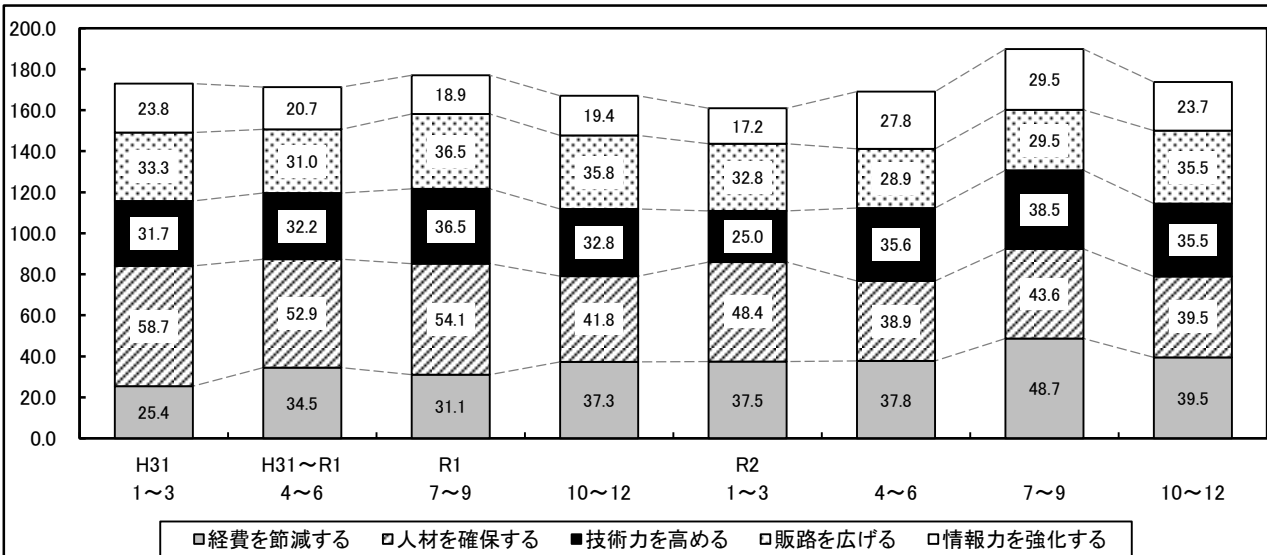


〈建設業〉 経営上の問題点（％）



	R2.1~3月期		R2.4~6月期		R2.7~9月期		R2.10~12月期	
第1位	売上停滞・減少	45.9 %	売上停滞・減少	67.0 %	売上停滞・減少	57.7 %	売上停滞・減少	52.0 %
第2位	人手不足	39.3 %	利幅の縮小	33.0 %	人手不足	30.8 %	人手不足	33.3 %
第3位	下請の確保難	31.1 %	人手不足	31.9 %	利幅の縮小	29.5 %	利幅の縮小	30.7 %
第4位	利幅の縮小	26.2 %	下請の確保難	19.8 %	下請の確保難	21.8 %	下請の確保難	21.3 %
第5位	人件費の増加	23.0 %	同業者間の競争の激化	17.6 %	同業者間の競争の激化	17.9 %	技術力の不足	18.7 %

〈建設業〉 重点経営施策（％）



	R2.1~3月期		R2.4~6月期		R2.7~9月期		R2.10~12月期	
第1位	人材を確保する	48.4 %	人材を確保する	38.9 %	経費を節減する	48.7 %	経費を節減する	39.5 %
							人材を確保する	39.5 %
第2位	経費を節減する	37.5 %	経費を節減する	37.8 %	人材を確保する	43.6 %	技術力を高める	35.5 %
							販路を広げる	35.5 %
第3位	販路を広げる	32.8 %	技術力を高める	35.6 %	技術力を高める	38.5 %	情報力を強化する	23.7 %
第4位	技術力を高める	25.0 %	販路を広げる	28.9 %	販路を広げる	29.5 %	労働条件を改善する	11.8 %
					情報力を強化する	29.5 %	新しい事業を始める	11.8 %
第5位	情報力を強化する	17.2 %	情報力を強化する	27.8 %	労働条件を改善する	12.8 %	教育訓練を強化する	10.5 %
	労働条件を改善する	17.2 %					特になし	10.5 %

建設業 業種別コメント

1. コロナ禍での営業は難しい。不況の中で今後も需要増は期待できない。
2. スーパーゼネコンの下請で監査派遣しているので、現在景気に左右されていない。今まで本業であった、大工工事（主に建築測量）は現在やっていない。
3. 利益率の高い大きめの物件の着工率が減り、細かい物件が多いので、純利益が減少。
4. 仕事の内容が細かい、色々な業種にまたがっている。
5. 売上減少が続いています。
6. 小工事ではあるが仕事は多くある。しかし人手不足により受注が出来ない。
7. 来年に向けて、売上増加の傾向にあります。
8. 現状は厳しいですが、周りの人たちに鉄の難しさを伝えることが出来れば、売上は上がると思います。
9. 若い人材が不足している。
10. 大企業の進出により売上は減少傾向である。
11. 技術のある職人が減っている。高齢化している。若い人が少ない。
12. コロナウイルスにより読めない。
13. 前期に止まっていた工事が動き、今期は一時的に忙しくなっている。
14. コロナウイルス関連で工事発生が停滞。年明け、発生が重なってきた時、工数・機材等不足が危惧される。
15. コロナ禍で受注が伸びていて、売上減少している。
16. 第3波の影響で受注減となっている。
17. コロナウイルスの影響により引き続き売上は減少傾向にある。
18. 仕事が予定通り発注されない。
19. 新型コロナウイルスの影響により、新しく始まる物件が少なく、リニューアル案件も延期となっている。
20. 現場は動いています。イベントのセッティング作業が全くありません。他の工事売上にてカバーしています。
21. 現場管理が出来る代理人を求めています、なかなか見つからないのが現状です。
22. 人手不足と技術力の不足。
23. 営業活動がコロナウイルスの影響により活動不足。
24. コロナウイルスによる影響の長期化により、受注減などに不安。
25. 人出不足受注減少。
26. 環境問題の影響で照明器具のLED化で支えられている所が大きい。年度末に集中するのは相変わらずの様子。
27. 需要が増え、増収増益はしてきているが、入金タイミングの差異による資金繰りに難。
28. 現場の減少により在庫が過多になっている。
29. 経営者の高齢化に伴い、新技術、IT化などが図れない。コロナ禍のテレワーク等に全く理解力がない。これらの理由により若年齢の入社が見込めず人手不足となっている。
30. 受注は変わらずあるが、作業人員の確保（高齢化）により今後の受注を増やせるかが課題である。
31. 新型コロナウイルスの影響により来年以降の受注が見えない。
32. 繁忙期と閑散期の差が激しく、人材確保と仕事量のバランスが難しい。人手不足を残業でカバーするので利益が減ってしまう。
33. 当方の営業ユーザーの閉店が続出。30～40年の取引先がコロナウイルスで閉店となり、大変つらい思いをしている。又、メーカー本体なりふり構わず入り込んで来て大変です。
34. 下請さんの技術不足。
35. 現状維持。
36. コロナ禍により決定していた仕事（受注）が、延期や中止になり仕事の減少が見られた。
37. 高度な依頼が増加し、対応可能の人員が確保出来ず、失注となる。
38. 受注増なのに人手不足で仕事を断ることが多い。

日銀短観

[調査対象企業数]

(2020年12月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,930社	5,577社	9,507社	99.5%
うち大企業	992社	894社	1,886社	99.0%
中堅企業	1,024社	1,648社	2,672社	99.4%
中小企業	1,914社	3,035社	4,949社	99.7%

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

		2019年度			2020年度		
		上期		下期	上期		下期
円/ドル	2020年9月調査	—	—	—	107.34	107.39	107.30
	2020年12月調査	—	—	—	106.79	107.03	106.55
円/ユーロ	2020年9月調査	—	—	—	120.42	120.35	120.49
	2020年12月調査	—	—	—	121.04	120.99	121.10

[業況判断]

(「良い」 - 「悪い」・%ポイント)

		2020年9月調査		2020年12月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業							
製造業		-27	-17	-10	17	-8	2
非製造業		-12	-11	-5	7	-6	-1
全産業		-21	-14	-8	13	-7	1
中堅企業							
製造業		-34	-30	-17	17	-17	0
非製造業		-23	-25	-14	9	-17	-3
全産業		-28	-27	-15	13	-18	-3
中小企業							
製造業		-44	-38	-27	17	-26	1
非製造業		-22	-27	-12	10	-20	-8
全産業		-31	-31	-18	13	-23	-5
全規模合計							
製造業		-37	-31	-20	17	-19	1
非製造業		-21	-24	-11	10	-16	-5
全産業		-28	-27	-15	13	-18	-3

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2019年度		2020年度	
		修正率	修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	-3.2	—	-9.1	-2.6
	国内	-1.9	—	-8.2	-2.1
	輸出	-5.9	—	-10.9	-3.7
	非製造業	-2.5	—	-8.5	-4.8
		-2.8	—	-8.7	-3.9
中堅企業	製造業	-1.2	—	-7.5	0.3
	非製造業	1.9	—	-8.1	-1.2
	全産業	1.1	—	-7.9	-0.8
中小企業	製造業	-2.7	—	-9.4	0.5
	非製造業	0.3	—	-8.5	0.7
	全産業	-0.4	—	-8.7	0.6
全規模合計	製造業	-2.8	—	-8.9	-1.6
	非製造業	-0.6	—	-8.4	-2.3
	全産業	-1.4	—	-8.6	-2.1

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比。

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

		2020年9月調査		2020年12月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
中小企業							
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-43	-41	-35	8	-34	1
	うち素材業種	-48	-45	-38	10	-37	1
	加工業種	-41	-38	-32	9	-31	1
	非製造業	-28	-30	-25	3	-27	-2
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-39	-34	-31	8	-28	3
	うち素材業種	-46	-39	-36	10	-33	3
	加工業種	-34	-30	-27	7	-25	2
	非製造業	—	—	—	—	—	—
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	25	—	20	-5	—	—
	うち素材業種	30	—	22	-8	—	—
	加工業種	21	—	18	-3	—	—
	非製造業	31	—	24	-7	—	—
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	37	—	28	-9	—	—
	うち素材業種	37	—	28	-9	—	—
	加工業種	25	—	21	-4	—	—
	非製造業	—	—	—	—	—	—
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	-8	-9	-5	3	-5	0
	うち素材業種	-6	-6	-1	5	1	2
	加工業種	-9	-11	-8	1	-10	-2
	非製造業	-7	-7	-6	1	-6	0
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	14	20	16	2	22	6
	うち素材業種	12	17	18	6	23	5
	加工業種	14	21	14	0	20	6
	非製造業	12	15	11	-1	15	4

東京都と品川区の企業倒産動向（令和2年12月）

1. 東京都の倒産概況

(単位: 件・億円)

	令和元年12月	令和2年11月	令和2年12月	前月比	前年同月比
件数	149	109	131	22	▲18
金額	321	196	157	▲39	▲164

2. 原因別倒産動向

(単位: 件・億円)

放漫経営		過小資本		他社倒産の金流		既住のしわ寄せ		販売不振	
11	9.3	1	0.4	15	32.0	11	69.5	91	44.7
売掛金回収難		信用性低下		在庫状態悪化		設備投資過大		その他	
0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.0	1	0.1

3. 業種別倒産動向

(単位: 件・億円)

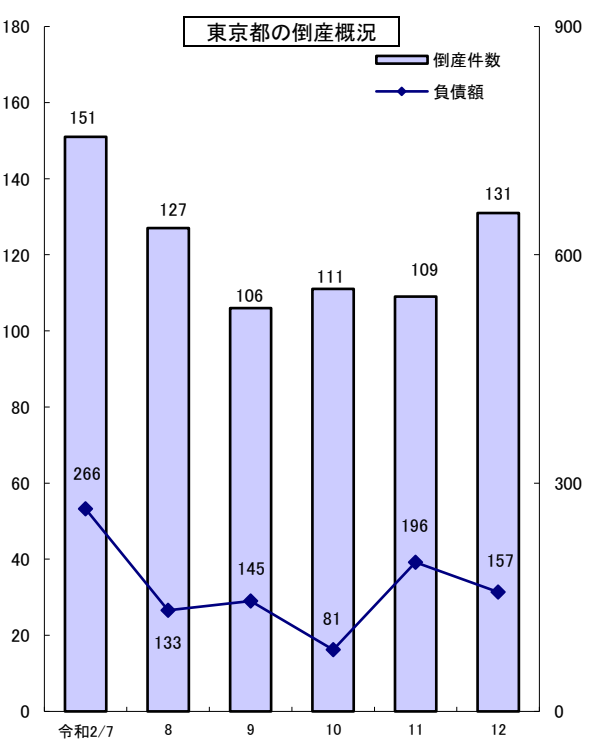
	件数			金額		
	前年同月	前月	当月	前年同月	前月	当月
製造業	16	8	7	8	7	3
卸売業	24	19	18	20	32	14
小売業	10	8	16	9	48	58
サービス業	32	29	30	19	76	22
建設業	23	5	19	23	2	39
不動産業	4	8	7	2	17	9
情報通信業・運輸業	24	8	13	32	4	2
宿泊業・飲食サービス業	11	14	15	11	9	5
その他	5	10	6	199	2	6
合計	149	109	131	321	196	157

4. 品川区内の令和2年12月の倒産動向

業種	件数	負債総額
製造業	0件	0百万円
卸売業	1件	300百万円
小売業	0件	0百万円
サービス業	0件	0百万円
建設業	0件	0百万円
不動産業	0件	0百万円
情報通信業・運輸業	1件	10百万円
宿泊業・飲食サービス業	0件	0百万円
その他	0件	0百万円
合計	2件	310百万円

(件数)

(億円)



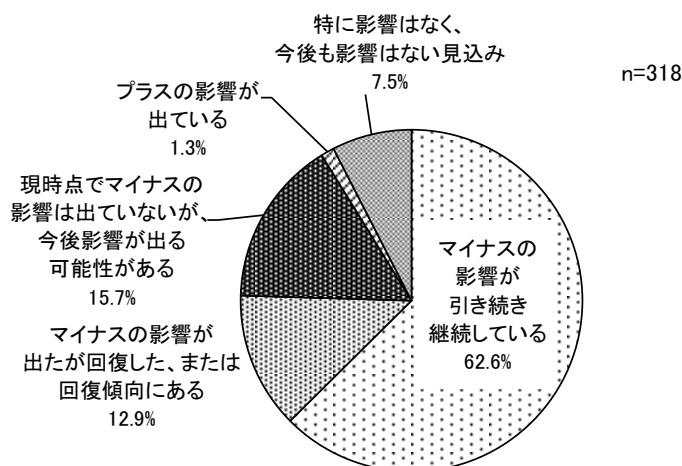
特別調査「新型コロナウイルス感染症による影響」

- ① 新型コロナウイルス感染症による影響については「マイナスの影響が引き続き継続している」が 62.6%で最多
- ② 具体的な影響については「製品・サービスの受注・売上減少」が 73.6%で最多
- ③ 自社で行った対策については「衛生環境の充実（感染予防）」が 60.2%で最多
- ④ 雇用の状況については「雇用状況は変わっていない」が 81.5%で最多
- ⑤ 利用した支援策については「持続化給付金（国）」が 59.0%、「家賃支援給付金（国）」が 29.5%

問1. 新型コロナウイルス感染症による影響

新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響については、全体では「マイナスの影響が引き続き継続している」が 62.6%で最も多く、次いで「現時点でマイナスの影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある」が 15.7%、「マイナスの影響が出たが回復した、または回復傾向にある」が 12.9%となった。

いずれの業種においても、景気の見通しについて、「マイナスの影響が引き続き継続している」に回答が集中していることを示す結果となった。「特に影響はなく、今後も影響はない見込み」と回答した企業の割合が最も多いのは建設業で 14.7%、次いでサービス業が 11.1%となり、他の業種では1割に満たなかった。なお、「マイナスの影響が引き続き継続している」と回答した企業の割合が最も多いのは小売業の 87.8%、最も少ないのは建設業の 37.3%で、業種間の差は 50.5 ポイントとなっている。



(単位：%)

	マイナスの 影響が 引き続き 継続している	マイナスの 影響が出たが 回復した、ま たは回復傾向 にある	現時点で マイナスの 影響は出てい ないが、今後 影響が出る 可能性がある	プラスの影響 が出ている	特に影響は なく、今後も 影響はない 見込み
全 体 (318) 件	62.6	12.9	15.7	1.3	7.5
製 造 業 (70) 件	77.1	7.1	8.6	1.4	5.7
卸 売 業 (69) 件	65.2	13.0	15.9	2.9	2.9
小 売 業 (41) 件	87.8	9.8	0.0	2.4	0.0
サービス業 (63) 件	57.1	14.3	17.5	0.0	11.1
建 設 業 (75) 件	37.3	18.7	29.3	0.0	14.7

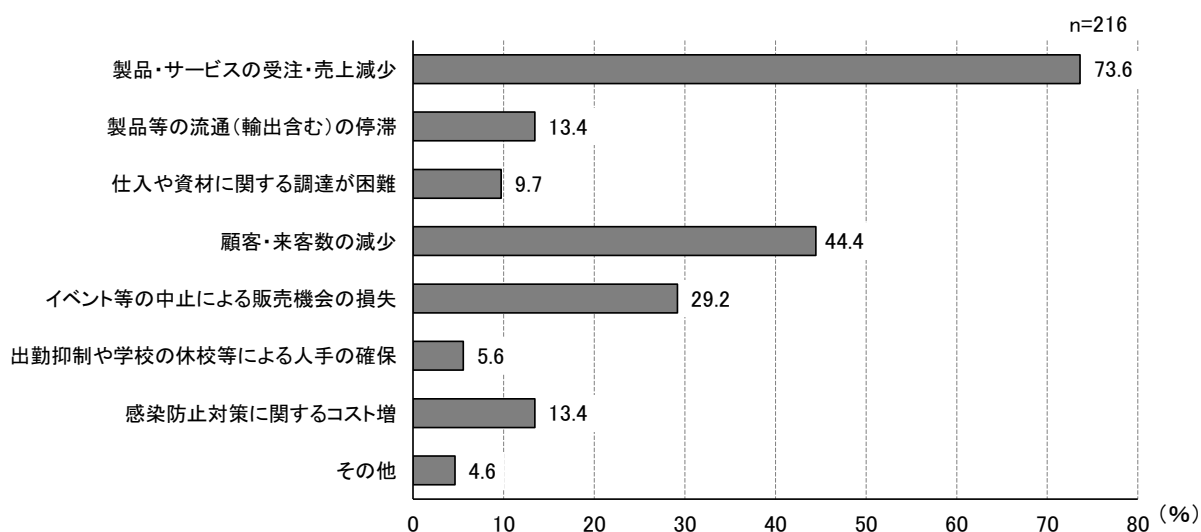
※図表中の構成比は、小数点第2位以下を四捨五入している。

そのため、合計した値が100%にならない場合がある（他設問についても同様）。

問2. 具体的な影響内容

新型コロナウイルス感染症による具体的な影響内容については、全体では「製品・サービスの受注・売上減少」が73.6%と最も多く、次いで「顧客・来客数の減少」が44.4%、「イベント等の中止による販売機会の損失」が29.2%となった。

ほとんどの業種で、「製品・サービスの受注・売上減少」に回答が集中していることを示す結果となった。一方で、小売業においては「顧客・来客数の減少」が97.2%と、他の業種に比べ極端に高い割合となっている。また、卸売業では「仕入や資材に関する調達が困難」が23.4%と、他の業種よりも回答割合が高くなっている。



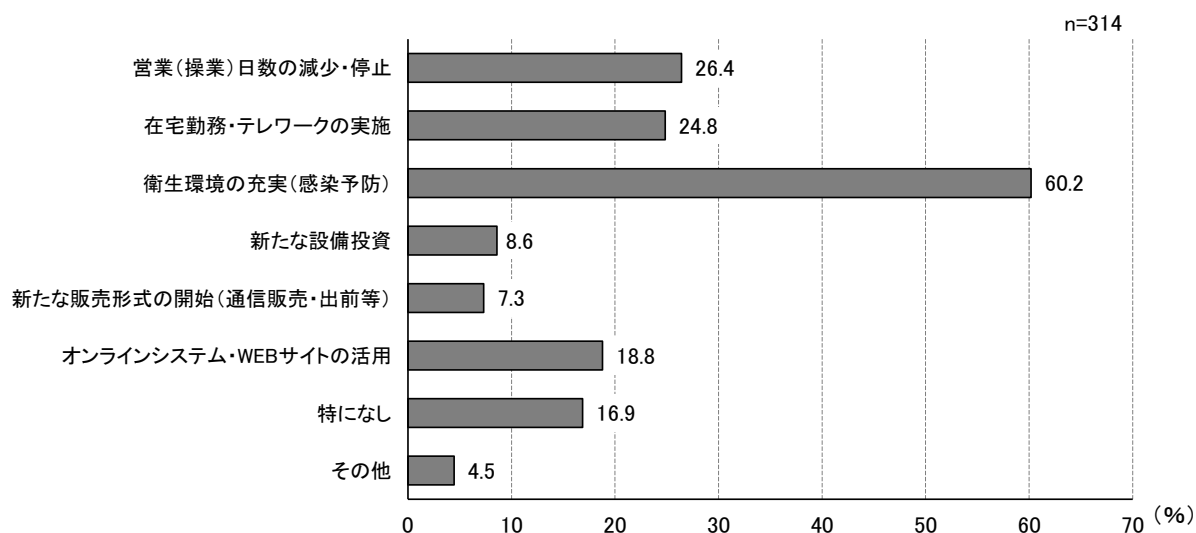
(単位：%)

	製品・サービスの受注・売上減少	製品等の流通（輸出含む）の停滞	仕入や資材に関する調達が困難	顧客・来客数の減少	イベント等の中止による販売機会の損失	出勤抑制や学校の休校等による人手の確保	感染防止対策に関するコスト増	その他
全 体 (216) 件	73.6	13.4	9.7	44.4	29.2	5.6	13.4	4.6
製 造 業 (56) 件	83.9	28.6	5.4	30.4	21.4	1.8	8.9	1.8
卸 売 業 (47) 件	89.4	25.5	23.4	42.6	36.2	4.3	12.8	4.3
小 売 業 (36) 件	58.3	0.0	2.8	97.2	41.7	5.6	22.2	8.3
サービス業 (40) 件	75.0	0.0	5.0	35.0	40.0	7.5	15.0	2.5
建 設 業 (37) 件	51.4	2.7	10.8	27.0	8.1	10.8	10.8	8.1

問3. 自社経営で取り組んだこと

自社経営での取り組んだことについては、「衛生環境の充実（感染予防）」が 60.2%と最も多く、次いで「営業（操業）日数の減少・停止」が 26.4%、「在宅勤務・テレワークの実施」が 24.8%と続いた。

ほとんどの業種で、「衛生環境の充実（感染予防）」に回答が集中していることを示す結果となった。また、小売業においては「営業（操業）日数の減少・停止」が 42.9%、「新たな販売形式の開始（通信販売・出前等）」が 28.6%と、他の業種よりも回答割合が高くなっている。



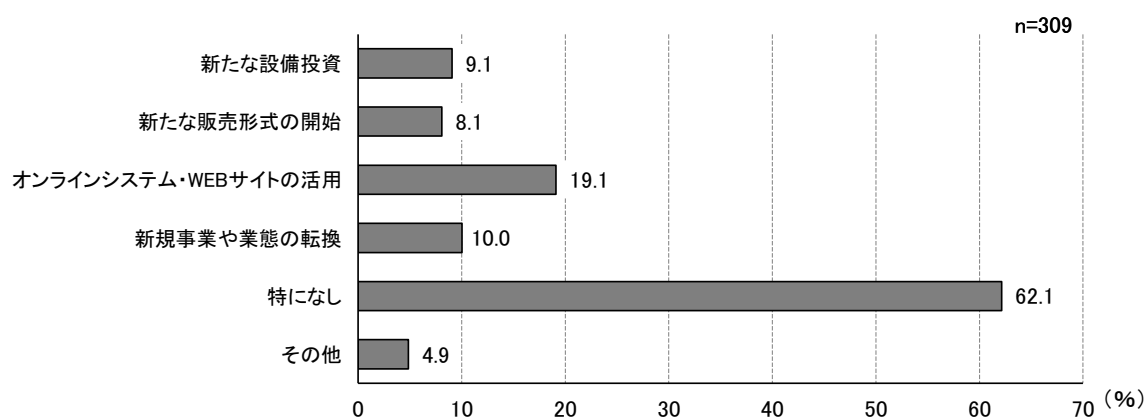
(単位：%)

	営業（操業）日数の減少・停止	在宅勤務・テレワークの実施	衛生環境の充実（感染予防）	新たな設備投資	新たな販売形式の開始（通信販売・出前等）	オンラインシステム・WEBサイトの活用	特になし	その他
全 体 (314) 件	26.4	24.8	60.2	8.6	7.3	18.8	16.9	4.5
製 造 業 (68) 件	26.5	20.6	52.9	4.4	4.4	16.2	22.1	5.9
卸 売 業 (69) 件	30.4	37.7	63.8	11.6	4.3	30.4	15.9	1.4
小 売 業 (42) 件	42.9	11.9	54.8	14.3	28.6	7.1	14.3	7.1
サービス業 (63) 件	25.4	30.2	61.9	7.9	6.3	25.4	12.7	3.2
建 設 業 (72) 件	13.9	19.4	65.3	6.9	1.4	11.1	18.1	5.6

問4. 販路拡大のために取り組んだこと

販路拡大のために取り組んだことについては、「特になし」が62.1%と割合が最も多く、次いで「オンラインシステム・WEBサイトの活用」が19.1%、「新規事業や業態の転換」が10.0%と続いた。

いずれの業種においても、「特になし」に回答が集中していることを示す結果となった。「オンラインシステム・WEBサイトの活用」では、卸売業が29.4%、サービス業が22.6%と、2割を超えて高くなっている。小売業においては、「新たな設備投資」および「新たな販売形式の開始」がそれぞれ17.1%と、他の業種よりも回答割合が高くなっている。



(単位: %)

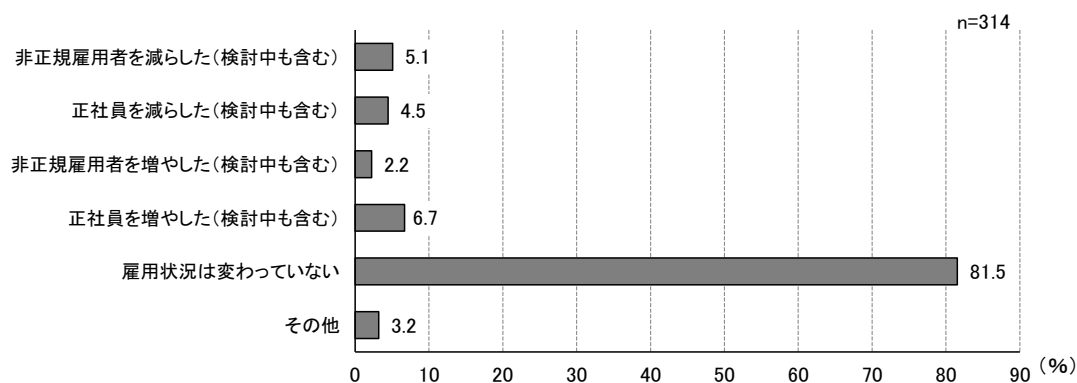
	新たな設備投資	新たな販売形式の開始	オンラインシステム・WEBサイトの活用	新規事業や業態の転換	特になし	その他
全 体 (309) 件	9.1	8.1	19.1	10.0	62.1	4.9
製 造 業 (65) 件	4.6	7.7	18.5	3.1	69.2	6.2
卸 売 業 (68) 件	7.4	10.3	29.4	11.8	51.5	7.4
小 売 業 (41) 件	17.1	17.1	14.6	14.6	53.7	2.4
サービ業 (62) 件	11.3	4.8	22.6	12.9	56.5	3.2
建 設 業 (73) 件	8.2	4.1	9.6	9.6	75.3	4.1

問5. 雇用の状況

雇用の状況については、「雇用状況は変わっていない」が81.5%と割合が最も多く、次いで「正社員を増やした（検討中も含む）」が6.7%、「非正規雇用者を減らした（検討中も含む）」が5.1%と続いた。

すべての業種において「雇用状況は変わっていない」に回答が集中していることを示す結果となった。

「雇用状況は変わっていない」と回答した企業の割合が最も多いのは建設業の86.7%、最も少ないのは小売業の71.4%で、業種間の差は15.3ポイントとなっている。「非正規雇用者を減らした（検討中も含む）」において、小売業が19.0%と高い割合を示している一方で、他の業種は1割にも満たなかった。



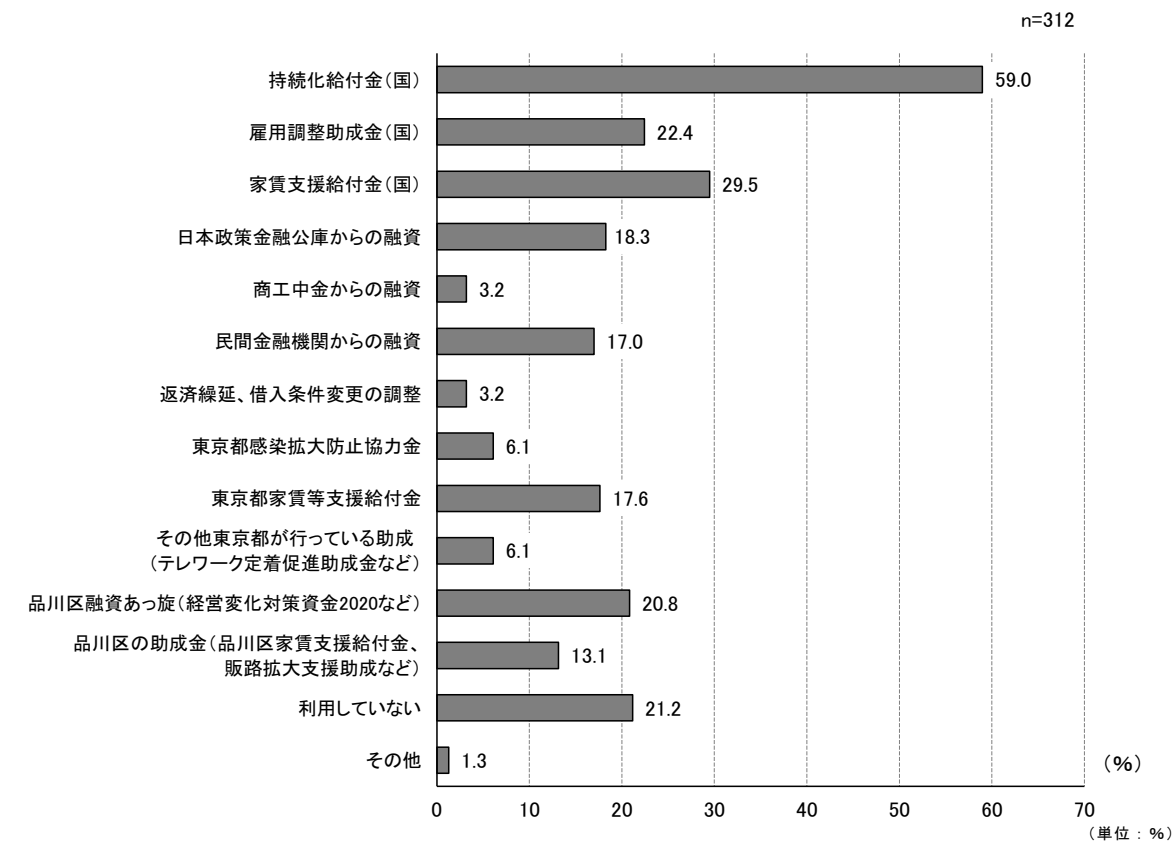
(単位：%)

	非正規雇用者を減らした(検討中も含む)	正社員を減らした(検討中も含む)	非正規雇用者を増やした(検討中も含む)	正社員を増やした(検討中も含む)	雇用状況は変わっていない	その他
全 体 (314) 件	5.1	4.5	2.2	6.7	81.5	3.2
製 造 業 (67) 件	4.5	6.0	1.5	9.0	79.1	6.0
卸 売 業 (67) 件	3.0	1.5	3.0	4.5	85.1	3.0
小 売 業 (42) 件	19.0	9.5	0.0	4.8	71.4	2.4
サービス業 (63) 件	4.8	6.3	4.8	6.3	81.0	1.6
建 設 業 (75) 件	0.0	1.3	1.3	8.0	86.7	2.7

問6. 利用した支援策

利用した支援策については、「持続化給付金（国）」が 59.0%と割合が最も多く、次いで「家賃支援給付金（国）」が 29.5%、「雇用調整助成金（国）」が 22.4%と続いた。

すべての業種において「持続化給付金（国）」に回答が集中していることを示す結果となった。回答割合が最も多いのは小売業の 88.1%、最も少ないのはサービス業の 46.0%で、業種間の差は 42.1 ポイントとなった。また、小売業では全体と比較して「東京都感染拡大防止協力金」が 27.2 ポイント、「日本政策金融公庫からの融資」が 19.8 ポイント、「家賃支援給付金（国）」が 15.8 ポイントと、回答割合が高くなっている。



	持続化給付金 (国)	雇用調整助成金 (国)	家賃支援給付金 (国)	日本政策金融 公庫からの融資	商工中金からの 融資	民間金融機関 からの融資	返済繰延、借入 条件変更の調整
全 体 (312) 件	59.0	22.4	29.5	18.3	3.2	17.0	3.2
製 造 業 (67) 件	64.2	29.9	31.3	14.9	4.5	19.4	7.5
卸 売 業 (67) 件	47.8	23.9	26.9	20.9	4.5	19.4	1.5
小 売 業 (42) 件	88.1	28.6	45.2	38.1	4.8	26.2	0.0
サービス業 (63) 件	46.0	22.2	22.2	12.7	1.6	9.5	4.8
建 設 業 (73) 件	58.9	11.0	27.4	12.3	1.4	13.7	1.4

東京都感染拡大 防止協力金	東京都家賃等 支援給付金	その他東京都が 行っている助成 (テレワーク 定着促進助成金 など)	品川区融資 あつ旋(経営変 化対策資金2020 など)	品川区の助成金 (品川区家賃支 援給付金、販路 拡大支援助成 など)	利用していない	その他
6.1	17.6	6.1	20.8	13.1	21.2	1.3
0.0	20.9	4.5	23.9	17.9	14.9	1.5
1.5	19.4	7.5	22.4	10.4	22.4	1.5
33.3	26.2	11.9	21.4	21.4	4.8	0.0
6.3	9.5	6.3	14.3	9.5	31.7	1.6
0.0	15.1	2.7	21.9	9.6	26.0	1.4

中小企業景況調査 比較表・転記表

製造業

品川区 中小企業景況調査 比較表

令和2年10月～12月期

[今期の景況]

		全体	電気機械器具	一般機械器具・金型	出版・印刷・同関連産業	金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ	プラスチック製品
業況		-63	-50	-69	-67	-79	-56
売上額		-31	-21	-48	-12	-57	-39
受注残		-36	-32	-59	-20	-51	-23
収益		-44	-41	-73	-20	-55	-46
販売価格		-16	7	-10	-13	-54	-29
原材料価格		10	1	33	11	-19	10
原材料在庫		10	31	4	7	-6	9
資金繰り		-27	-10	-24	-24	-62	-22
雇用	残業時間	-30	-12	-22	-40	-42	-50
	人手	7	-24	0	60	0	27
同期比	売上額	-74	0	-72	-82	-67	-82
	収益	-74	-65	-72	-91	-67	-82
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	76	71	71	82	75	90
	②工場・機械の狭小・老朽化	28	29	41	27	25	10
	③利幅の縮小	24	29	12	36	17	30
	④同業者間の競争の激化	16	12	18	27	17	10
	⑤人手不足	12	18	18	0	17	0
重点経営施策	①経費を節減する	55	59	33	73	50	73
	②販路を広げる	54	35	56	64	75	45
	③情報力を強化する	22	0	22	45	33	18
	④新製品・技術を開発する	22	29	28	27	17	0
	⑤人材を確保する	19	35	22	9	17	0
借入の難易度		6	18	28	0	-25	-9

[来期の景況見通し]

業況		-72	-78	-72	-69	-90	-57
売上額		-47	-49	-48	-33	-68	-49
受注残		-46	-36	-55	-21	-73	-54
収益		-48	-45	-54	-39	-55	-55
販売価格		-18	10	-23	-9	-50	-38
原材料価格		18	4	43	15	14	4
原材料在庫		9	29	7	14	-19	9
資金繰り		-36	-17	-26	-40	-68	-40
雇用	残業時間	-29	-12	-17	-20	-50	-64
	人手	9	-12	0	50	0	27

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

小 売 業

品川区 中小企業景況調査 比較表

令和2年10月～12月期

[今期の景況]

		全体	飲食料品	飲食店	衣服・呉服・身の回り品
業況		-66	-28	-91	-64
売上額		-41	-17	-70	-32
収益		-48	-31	-68	-43
販売価格		-10	-3	-13	-12
仕入価格		10	12	12	5
在庫		10	10	7	15
資金繰り		-42	-25	-60	-33
雇用	残業時間	-49	-50	-70	-8
	人手	0	-38	0	23
同期比	売上額	-91	-88	-96	-85
	収益	-89	-88	-96	-77
	販売価格	-23	-25	-26	-15
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	88	88	91	83
	②商店街の集客力の低下	31	25	27	42
	③利幅の縮小	24	25	32	8
	④取引先の減少	17	38	5	25
	⑤人手不足	14	13	18	8
重点経営施策	①経費を節減する	73	75	75	69
	②品揃えを改善する	32	25	25	46
	③宣伝・広報を強化する	22	0	30	23
	④新しい事業を始める	20	38	20	8
	⑤商店街事業を活性化させる	17	25	20	8
借入の難易度		12	0	29	-8

[来期の景況見通し]

業況		-71	-44	-100	-64
売上額		-73	-64	-87	-68
収益		-73	-69	-88	-63
販売価格		-21	-21	-27	-15
仕入価格		5	-2	12	-1
在庫		9	14	2	16
資金繰り		-50	-36	-60	-46
雇用	残業時間	-48	-25	-73	-17
	人手	0	-13	-4	17

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H31		H31～R1		R1		R1		R2		R2		R2		R2		対	R3
項目		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		前期比	1～3月期
業況	良い	23.0	23.2	19.5	19.2	12.0	14.3	17.7	12.0	17.7	12.7	10.5	11.3	5.3	3.5	10.0	4.1		5.1
	普通	43.2	31.9	33.3	39.7	26.7	33.3	25.3	33.3	19.4	39.2	10.5	16.1	7.9	14.1	17.5	13.5		19.0
	悪い	33.8	44.9	47.1	41.1	61.3	52.4	57.0	54.7	62.9	48.1	79.1	72.6	86.8	82.4	72.5	82.4		75.9
	D・I	-10.8	-21.7	-27.6	-21.9	-49.3	-38.1	-39.2	-42.7	-45.2	-35.4	-68.6	-61.3	-81.6	-78.8	-62.5	-78.4		-70.9
	修正値	-19.9	-24.2	-24.1	-23.3	-43.1	-34.4	-40.5	-44.6	-48.6	-36.5	-64.9	-59.1	-78.1	-75.4	-63.0	-77.9	15.0	-71.5
	傾向値	-15.9		-17.5		-21.1		-27.6		-36.0		-45.5		-54.6		-61.6			
売上額	増加	20.3	24.6	20.7	16.2	16.2	18.4	27.8	18.7	17.7	11.4	11.6	6.5	10.4	5.9	30.4	19.7		15.2
	変らず	44.6	24.6	26.4	41.9	23.0	31.0	19.0	30.7	25.8	39.2	9.3	27.4	11.7	22.4	19.0	14.5		25.3
	減少	35.1	50.7	52.9	41.9	60.8	50.6	53.2	50.7	56.5	49.4	79.1	66.1	77.9	71.8	50.6	65.8		59.5
	D・I	-14.9	-26.1	-32.2	-25.7	-44.6	-32.2	-25.3	-32.0	-38.7	-38.0	-67.4	-59.7	-67.5	-65.9	-20.3	-46.1		-44.3
	修正値	-22.3	-30.7	-20.7	-19.3	-38.8	-28.5	-33.3	-36.7	-42.6	-40.1	-58.5	-52.7	-63.2	-62.5	-31.4	-49.7	32.0	-47.4
	傾向値	-13.6		-15.0		-19.3		-25.9		-32.2		-39.6		-46.9		-49.1			
受注残	増加	16.2	14.7	14.0	14.9	12.5	18.6	14.3	12.3	6.5	5.1	11.6	4.8	9.2	5.9	18.8	16.0		10.1
	変らず	52.7	42.6	43.0	51.4	31.9	39.5	40.3	38.4	43.5	48.7	16.3	43.5	23.7	23.5	30.0	28.0		32.9
	減少	31.1	42.6	43.0	33.8	55.6	41.9	45.5	49.3	50.0	46.2	72.1	51.6	67.1	70.6	51.3	56.0		57.0
	D・I	-14.9	-27.9	-29.1	-18.9	-43.1	-23.3	-31.2	-37.0	-43.5	-41.0	-60.5	-46.8	-57.9	-64.7	-32.5	-40.0		-46.8
	修正値	-23.0	-28.8	-23.1	-20.7	-39.8	-19.3	-32.6	-37.8	-47.2	-39.9	-54.9	-46.7	-54.2	-61.1	-35.7	-40.7	18.0	-46.1
	傾向値	-18.2		-20.5		-24.9		-28.8		-33.1		-40.6		-46.4		-48.4			
収益	増加	20.5	22.1	11.5	13.5	12.3	14.9	17.9	18.7	14.5	9.0	10.5	11.3	10.4	8.3	23.8	18.4		14.1
	変らず	45.2	33.8	33.3	43.2	20.5	31.0	25.6	30.7	27.4	39.7	11.6	29.0	18.2	17.9	16.3	15.8		25.6
	減少	34.2	44.1	55.2	43.2	67.1	54.0	56.4	50.7	58.1	51.3	77.9	59.7	71.4	73.8	60.0	65.8		60.3
	D・I	-13.7	-22.1	-43.7	-29.7	-54.8	-39.1	-38.5	-32.0	-43.5	-42.3	-67.4	-48.4	-61.0	-65.5	-36.3	-47.4		-46.2
	修正値	-22.4	-26.8	-33.5	-24.8	-48.9	-35.9	-45.5	-36.8	-48.2	-44.4	-58.5	-43.1	-55.7	-60.4	-44.5	-50.4	11.0	-48.2
	傾向値	-21.0		-22.6		-26.1		-33.2		-41.4		-48.1		-51.8		-52.3			
価格動向	販売価格	-5.4	-8.7	-13.8	-5.4	-12.2	-19.5	-6.3	-14.9	-13.1	-12.7	-20.9	-6.6	-20.8	-15.3	-13.8	-19.7		-18.8
	〃 修正値	-9.5	-9.1	-11.4	-8.6	-11.9	-16.7	-10.1	-16.9	-15.2	-14.0	-16.5	-9.7	-18.4	-11.5	-16.3	-19.1	2.0	-18.4
	〃 傾向値	-11.0		-10.7		-10.2		-9.5		-10.4		-12.2		-14.2		-16.2			
	原材料価格	47.3	36.2	43.7	35.1	29.7	41.4	32.9	36.5	27.4	20.3	3.5	23.0	13.2	8.2	8.8	18.7		13.8
	〃 修正値	49.0	40.0	43.6	37.3	32.1	39.9	36.3	38.0	27.4	26.5	5.2	23.5	14.3	7.7	10.1	17.3	-4.0	17.6
	〃 傾向値	44.7		43.9		41.2		38.9		35.9		28.4		21.3		16.2			
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	5.4	7.5	15.9	5.4	20.3	11.4	6.4	18.7	11.5	10.3	7.2	16.4	13.3	3.7	7.6	9.3		7.6
	〃 修正値	7.7	11.1	13.6	4.1	18.3	9.3	8.3	19.8	14.0	12.1	5.8	14.7	10.7	3.0	10.1	10.8	-1.0	9.3
	資金繰り	-8.1	-16.2	-17.0	-16.2	-26.7	-26.1	-20.5	-33.3	-29.0	-26.9	-47.7	-40.3	-33.8	-54.1	-27.8	-37.7		-35.4
	〃 修正値	-14.1	-16.7	-17.7	-21.2	-24.5	-22.7	-18.5	-32.2	-30.9	-26.9	-45.4	-41.6	-33.0	-49.7	-26.8	-36.7	6.0	-36.1
前年同期比	売上額	-9.8		-32.1		-30.1		-40.6		-57.4		-67.9		-77.9		-73.9			
	収益	-10.0		-35.7		-38.4		-46.3		-58.1		-64.7		-76.6		-73.9			
雇用	残業時間	-3.3	-15.6	-26.2	-16.4	-24.3	-20.2	-24.6	-4.1	-31.1	-24.6	-44.6	-27.9	-30.3	-34.1	-29.9	-27.6		-29.4
	人手	-37.1	-18.8	-26.2	-25.8	-16.2	-18.1	-10.1	-18.9	-15.0	-10.1	8.3	-6.7	15.6	10.8	7.4	16.9		8.8
借入金	借入難易度	16.9		8.4		2.7		4.6		1.6		10.8		21.3		5.9			
	借入をした(%)	32.3	29.3	25.3	24.6	28.4	21.0	31.7	29.0	27.4	32.8	42.0	23.3	46.1	36.0	38.8	26.9		26.2
	借入をしない(%)	67.7	70.7	74.7	75.4	71.6	79.0	68.3	71.0	72.6	67.2	58.0	76.7	53.9	64.0	61.2	73.1		73.8
有効回答事業所数		74		88		75		79		62		86		77		80			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H31 1～3月期		H31～R1 4～6月期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		対 前期比	R3 1～3月期
項目																			
設備投資動向（％）	現在の設備	-17.7	0.0	-14.5	-13.3	-9.3	-12.2	-7.5	-9.3	-8.2	-6.0	-6.1	0.0	7.9	-4.9	-1.5	5.3		-1.5
	実施した	38.3	41.9	36.3	32.7	29.6	40.0	29.4	28.6	20.3	25.8	22.2	20.3	30.3	15.0	19.7	25.0		26.9
	事業用地・建物	3.3	4.8	5.0	5.5	2.8	6.3	4.4	4.3	1.7	4.5	3.7	0.0	1.3	2.5	4.5	0.0		3.0
	機械・設備の新・増設	16.7	16.1	11.3	10.9	15.5	18.8	11.8	8.6	8.5	12.1	7.4	5.1	9.2	6.3	1.5	6.6		6.0
	機械・設備の更改	15.0	16.1	13.8	10.9	9.9	18.8	7.4	14.3	1.7	7.6	4.9	6.8	6.6	3.8	9.1	9.2		11.9
	事務機器	10.0	11.3	10.0	10.9	9.9	8.8	16.2	10.0	13.6	7.6	8.6	11.9	11.8	6.3	13.6	9.2		9.0
	車両	15.0	8.1	6.3	7.3	11.3	7.5	7.4	4.3	3.4	3.0	4.9	6.8	9.2	3.8	3.0	7.9		6.0
	その他	0.0	0.0	3.8	1.8	2.8	2.5	0.0	0.0	0.0	1.5	1.2	0.0	1.3	1.3	0.0	1.3		0.0
	実施しない	61.7	58.1	63.8	67.3	70.4	60.0	70.6	71.4	79.7	74.2	77.8	79.7	69.7	85.0	80.3	75.0		73.1
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	45.0		54.8		65.3		69.2		66.1		81.2		83.1		76.1			
	人手不足	38.3		28.6		27.8		16.9		16.1		10.6		6.5		11.9			
	大手企業との競争の激化	3.3		1.2		2.8		1.5		0.0		0.0		2.6		3.0			
	同業者間の競争の激化	6.7		9.5		15.3		18.5		11.3		9.4		6.5		16.4			
	親企業による選別の強化	3.3		3.6		4.2		6.2		3.2		1.2		2.6		3.0			
	輸入製品との競争の激化	6.7		2.4		1.4		1.5		1.6		2.4		2.6		0.0			
	合理化の不足	8.3		11.9		8.3		6.2		6.5		5.9		10.4		7.5			
	利幅の縮小	15.0		16.7		16.7		18.5		29.0		24.7		20.8		23.9			
	原材料高	23.3		23.8		18.1		15.4		21.0		9.4		9.1		10.4			
	販売納入先からの値下げ要請	5.0		6.0		6.9		0.0		6.5		2.4		5.2		4.5			
	仕入先からの値上げ要請	11.7		11.9		6.9		4.6		8.1		5.9		3.9		3.0			
	人件費の増加	10.0		10.7		9.7		21.5		9.7		11.8		3.9		9.0			
	人件費以外の経費増加	3.3		6.0		6.9		12.3		8.1		5.9		9.1		7.5			
	工場・機械の狭小・老朽化	30.0		20.2		19.4		15.4		17.7		17.6		18.2		28.4			
	生産能力の不足	6.7		7.1		9.7		6.2		11.3		4.7		3.9		6.0			
	下請の確保難	13.3		9.5		9.7		9.2		8.1		9.4		3.9		10.4			
	代金回収の悪化	1.7		0.0		0.0		0.0		1.6		1.2		0.0		0.0			
	地価の高騰	0.0		1.2		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	天候の不順	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.2		0.0		0.0			
	地場産業の衰退	1.7		3.6		1.4		1.5		3.2		5.9		2.6		3.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	5.0		4.8		11.1		9.2		6.5		4.7		10.4		11.9			
	為替レートの変動	0.0		1.2		0.0		1.5		3.2		1.2		3.9		3.0			
	その他	0.0		3.6		5.6		1.5		8.1		7.1		7.8		6.0			
	問題なし	1.7		6.0		2.8		3.1		1.6		0.0		3.9		1.5			
重点経営施策（％）	販路を広げる	51.7		59.8		54.8		51.5		47.5		62.7		56.0		53.6			
	経費を節減する	48.3		43.9		47.9		38.2		37.7		56.6		48.0		55.1			
	情報力を強化する	18.3		15.9		16.4		26.5		18.0		20.5		24.0		21.7			
	新製品・技術を開発する	21.7		24.4		24.7		20.6		31.1		21.7		26.7		21.7			
	不採算部門を整理・縮小する	6.7		8.5		8.2		5.9		3.3		10.8		4.0		7.2			
	提携先を見つける	6.7		13.4		8.2		13.2		11.5		14.5		9.3		5.8			
	機械化を推進する	11.7		11.0		9.6		10.3		13.1		3.6		5.3		2.9			
	人材を確保する	41.7		31.7		37.0		33.8		21.3		13.3		18.7		18.8			
	パート化を図る	3.3		1.2		2.7		0.0		1.6		2.4		4.0		2.9			
	教育訓練を強化する	10.0		11.0		13.7		10.3		14.8		16.9		9.3		11.6			
	労働条件を改善する	3.3		2.4		2.7		4.4		9.8		3.6		2.7		1.4			
	工場・機械を増設・移転する	15.0		6.1		6.8		4.4		3.3		8.4		4.0		5.8			
	不動産の有効活用を図る	5.0		3.7		4.1		4.4		4.9		1.2		4.0		4.3			
	その他	0.0		0.0		0.0		2.9		3.3		2.4		1.3		2.9			
	特になし	1.7		7.3		6.8		10.3		4.9		6.0		9.3		8.7			
有効回答事業所数		74		88		75		79		62		86		77		80			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H31 1～3月期		H31～R1 4～6月期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		対 前期比	R3 1～3月期
項目																			
業況	良い	6.6	18.6	20.7	8.0	15.1	14.1	14.3	5.6	7.9	10.5	3.8	1.6	7.7	2.5	10.5	9.0		6.7
	普通	42.1	34.3	28.7	41.3	35.6	27.1	27.3	36.6	20.6	40.8	6.3	15.9	14.1	11.4	19.7	16.7		21.3
	悪い	51.3	47.1	50.6	50.7	49.3	58.8	58.4	57.7	71.4	48.7	89.9	82.5	78.2	86.1	69.7	74.4		72.0
	D・I	-44.7	-28.6	-29.9	-42.7	-34.2	-44.7	-44.2	-52.1	-63.5	-38.2	-86.1	-81.0	-70.5	-83.5	-59.2	-65.4		-65.3
	修正値	-43.6	-23.7	-27.9	-42.0	-33.1	-41.8	-44.6	-52.8	-58.9	-36.6	-84.4	-78.7	-70.3	-81.7	-62.1	-65.4	8.0	-65.7
	傾向値	-26.7		-29.1		-29.8		-34.3		-40.6		-50.0		-61.5		-67.9			
売上額	増加	15.8	15.9	18.4	14.5	21.9	17.4	15.6	19.4	20.6	14.5	2.5	7.9	15.4	10.1	25.0	15.2		13.2
	変らず	32.9	37.7	23.0	47.4	23.3	26.7	29.9	27.8	15.9	32.9	11.4	14.3	14.1	19.0	17.1	21.5		28.9
	減少	51.3	46.4	58.6	38.2	54.8	55.8	54.5	52.8	63.5	52.6	86.1	77.8	70.5	70.9	57.9	63.3		57.9
	D・I	-35.5	-30.4	-40.2	-23.7	-32.9	-38.4	-39.0	-33.3	-42.9	-38.2	-83.5	-69.8	-55.1	-60.8	-32.9	-48.1		-44.7
	修正値	-30.4	-20.2	-33.1	-22.1	-31.0	-37.5	-45.9	-38.9	-36.8	-30.1	-79.5	-67.0	-54.7	-58.6	-42.5	-51.3	12.0	-40.5
	傾向値	-16.9		-21.7		-26.3		-32.4		-37.8		-44.1		-52.3		-54.4			
収益	増加	10.5	14.3	18.4	11.8	17.8	16.3	15.6	11.1	16.1	11.8	2.5	6.5	16.7	10.1	21.1	15.2		11.8
	変らず	32.9	37.1	28.7	48.7	26.0	25.6	29.9	34.7	21.0	36.8	12.7	19.4	11.5	16.5	22.4	19.0		28.9
	減少	56.6	48.6	52.9	39.5	56.2	58.1	54.5	54.2	62.9	51.3	84.8	74.2	71.8	73.4	56.6	65.8		59.2
	D・I	-46.1	-34.3	-34.5	-27.6	-38.4	-41.9	-39.0	-43.1	-46.8	-39.5	-82.3	-67.7	-55.1	-63.3	-35.5	-50.6		-47.4
	修正値	-41.5	-25.9	-28.1	-27.5	-38.9	-41.5	-44.2	-46.1	-40.3	-32.8	-78.1	-65.5	-56.5	-61.7	-43.5	-52.4	13.0	-43.5
	傾向値	-23.5		-26.7		-30.0		-36.0		-39.6		-45.6		-53.7		-55.4			
価格動向	販売価格	0.0	-8.6	-5.8	6.6	-1.4	-7.1	-11.8	-9.9	-14.3	-11.7	-30.4	-22.2	-17.9	-35.4	-17.1	-20.3		-14.5
	〃 修正値	-0.9	-8.5	-3.0	2.7	-0.7	-3.8	-11.3	-6.9	-13.4	-10.7	-25.1	-22.7	-19.3	-31.2	-18.3	-18.6	1.0	-16.4
	〃 傾向値	-3.9		-3.9		-3.4		-4.0		-6.5		-11.4		-16.5		-19.3			
	仕入価格	39.5	27.1	32.6	44.7	36.1	30.6	10.5	22.5	4.8	14.5	3.8	3.2	16.9	-1.3	18.4	12.8		22.4
	〃 修正値	42.5	29.5	32.2	43.2	43.1	32.8	11.8	26.0	9.4	18.5	5.5	5.2	17.8	1.8	16.1	12.1	-2.0	20.8
	〃 傾向値	34.2		34.6		34.3		32.5		25.3		17.4		11.4		10.0			
在庫・資金繰り	在庫数量	13.7	8.6	12.9	8.2	22.5	7.1	18.9	21.4	29.5	20.0	32.0	14.8	15.8	26.7	6.7	13.0		12.0
	〃 修正値	10.5	9.3	15.6	5.4	19.2	10.4	20.9	18.9	24.8	18.4	33.5	13.3	15.6	29.4	10.7	12.3	-5.0	11.1
	資金繰り	-3.9	4.3	-14.9	-6.6	-11.1	-17.6	-6.5	-11.3	-12.7	-7.9	-32.1	-25.4	-14.3	-37.2	-2.6	-19.2		-7.9
	〃 修正値	-6.8	4.2	-15.4	-8.6	-6.8	-16.3	-9.6	-11.1	-14.5	-8.5	-29.1	-25.8	-11.8	-33.7	-8.7	-19.2	3.0	-12.1
前年同期比	売上額	-45.1		-23.0		-27.8		-35.8		-53.2		-75.9		-66.7		-50.0			
	収益	-45.1		-34.5		-36.1		-41.8		-58.1		-82.3		-70.5		-58.6			
	販売価格	0.0		-3.5		-5.6		-1.5		-23.0		-36.7		-31.2		-22.9			
雇用	残業時間	-5.6	-11.1	-17.4	-8.5	-6.9	-11.6	-12.1	-4.2	-22.6	-20.0	-55.1	-30.6	-31.2	-27.3	-14.3	-22.1		-17.1
	人手	-26.8	-21.9	-19.8	-22.5	-29.6	-25.6	-23.1	-27.5	-9.7	-15.4	15.4	-8.1	2.6	15.4	-2.9	0.0		-1.4
借入金	借入難易度	4.3		-2.4		7.0		3.1		-6.3		4.0		2.6		10.1			
	借入をした(%)	27.5	22.4	34.5	24.6	34.7	28.0	32.8	25.8	35.0	28.6	40.3	31.1	46.2	42.3	46.4	29.2		22.4
	借入をしない(%)	72.5	77.6	65.5	75.4	65.3	72.0	67.2	74.2	65.0	71.4	59.7	68.9	53.8	57.7	53.6	70.8		77.6
有効回答事業所数		76		87		73		77		63		80		79		76			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H31		H31～R1		R1		R1		R2		R2		R2		R2		対	R3
項目		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		前期比	1～3月期
設備投資動向（％）	現在の設備	-11.9	-12.1	-11.0	-9.1	-8.7	-14.6	-7.9	-10.3	-3.4	-3.2	-1.4	-3.4	-8.3	-7.0	2.9	-8.5		4.3
	実施した	33.8	31.9	37.3	30.8	33.8	36.8	29.0	33.8	24.6	37.7	28.4	20.4	36.4	31.0	38.6	30.4		31.3
	事業用地・建物	1.5	0.0	1.2	0.0	4.4	1.3	1.6	0.0	1.8	4.9	1.4	0.0	5.2	4.2	7.1	2.9		3.0
	機械・設備の新・増設	6.2	5.8	4.8	3.1	8.8	3.9	6.5	4.6	1.8	8.2	8.1	0.0	5.2	7.0	5.7	2.9		7.5
	機械・設備の更改	6.2	7.2	7.2	15.4	5.9	6.6	4.8	7.7	1.8	8.2	8.1	3.7	6.5	2.8	2.9	8.7		10.4
	事務機器	13.8	15.9	21.7	9.2	19.1	23.7	22.6	18.5	15.8	21.3	16.2	16.7	20.8	18.3	24.3	17.4		14.9
	車両	16.9	17.4	15.7	15.4	14.7	11.8	12.9	12.3	14.0	14.8	10.8	11.1	13.0	7.0	12.9	10.1		10.4
	その他	1.5	0.0	2.4	1.5	0.0	2.6	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0		0.0
	実施しない	66.2	68.1	62.7	69.2	66.2	63.2	71.0	66.2	75.4	62.3	71.6	79.6	63.6	69.0	61.4	69.6		68.7
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	48.5		54.9		60.0		53.8		58.3		77.6		66.7		69.1			
	人手不足	20.6		18.3		24.3		15.4		8.3		6.6		14.1		11.8			
	同業者間の競争の激化	25.0		26.8		21.4		21.5		18.3		21.1		17.9		19.1			
	輸入製品との競争の激化	1.5		4.9		1.4		0.0		0.0		2.6		1.3		0.0			
	流通経路の変化による競争の激化	8.8		3.7		10.0		9.2		10.0		9.2		3.8		7.4			
	合理化の不足	7.4		2.4		1.4		4.6		6.7		6.6		7.7		11.8			
	小口注文・多頻度配送の増加	10.3		12.2		10.0		9.2		6.7		6.6		12.8		14.7			
	利幅の縮小	26.5		30.5		28.6		35.4		36.7		23.7		30.8		19.1			
	取扱商品の陳腐化	5.9		2.4		7.1		9.2		3.3		2.6		3.8		5.9			
	販売商品の不足	4.4		2.4		0.0		7.7		11.7		6.6		5.1		7.4			
	販売納入先からの値下げ要請	1.5		6.1		1.4		1.5		3.3		7.9		3.8		4.4			
	仕入先からの値上げ要請	19.1		9.8		11.4		9.2		1.7		5.3		6.4		10.3			
	人件費の増加	8.8		12.2		10.0		13.8		6.7		10.5		9.0		7.4			
	人件費以外の経費の増加	7.4		12.2		11.4		9.2		6.7		7.9		7.7		5.9			
	取引先の減少	19.1		19.5		21.4		13.8		26.7		21.1		26.9		26.5			
	店舗の狭小・老朽化	4.4		1.2		5.7		3.1		1.7		2.6		1.3		4.4			
	代金回収の悪化	0.0		0.0		0.0		3.1		1.7		7.9		1.3		1.5			
	地価の高騰	0.0		1.2		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.5			
	駐車場の確保難	1.5		0.0		1.4		1.5		1.7		0.0		0.0		0.0			
	天候の不順	0.0		2.4		7.1		9.2		3.3		1.3		5.1		1.5			
	地場産業の衰退	1.5		3.7		4.3		4.6		3.3		1.3		2.6		0.0			
	為替レートの変動	13.2		18.3		12.9		9.2		13.3		6.6		12.8		7.4			
	大手企業・工場の縮小・撤退	2.9		6.1		2.9		7.7		3.3		7.9		9.0		2.9			
	その他	2.9		2.4		0.0		0.0		11.7		7.9		3.8		2.9			
	問題なし	5.9		1.2		1.4		3.1		1.7		1.3		2.6		4.4			
重点経営施策（％）	販路を広げる	62.3		59.3		56.9		56.9		54.0		55.3		59.0		69.1			
	経費を節減する	36.2		40.7		38.9		36.9		49.2		51.3		48.7		41.2			
	品揃えを充実する	17.4		16.3		19.4		20.0		17.5		15.8		10.3		13.2			
	情報力を強化する	33.3		29.1		31.9		23.1		27.0		38.2		35.9		27.9			
	新しい事業を始める	2.9		14.0		12.5		9.2		11.1		10.5		9.0		11.8			
	提携先を見つける	11.6		7.0		5.6		4.6		3.2		9.2		6.4		2.9			
	機械化を推進する	1.4		3.5		2.8		3.1		1.6		2.6		2.6		4.4			
	人材を確保する	20.3		30.2		23.6		24.6		19.0		15.8		19.2		23.5			
	パート化を図る	0.0		1.2		4.2		3.1		1.6		0.0		1.3		1.5			
	教育訓練を強化する	13.0		8.1		5.6		6.2		11.1		7.9		10.3		16.2			
	流通経路の見直しをする	8.7		4.7		6.9		6.2		7.9		2.6		2.6		2.9			
	取引先を支援する	4.3		2.3		2.8		1.5		3.2		0.0		5.1		2.9			
	輸入品の取扱いを増やす	1.4		2.3		4.2		1.5		6.3		1.3		2.6		1.5			
	労働条件を改善する	4.3		4.7		4.2		7.7		1.6		5.3		3.8		5.9			
	不動産の有効活用を図る	4.3		3.5		2.8		7.7		3.2		3.9		3.8		7.4			
	その他	0.0		2.3		1.4		1.5		0.0		5.3		1.3		1.5			
	特になし	10.1		9.3		11.1		10.8		6.3		6.6		9.0		7.4			
有効回答事業所数		76		87		73		77		63		80		79		76			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H31 1～3月期		H31～R1 4～6月期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		対 前期比	R3 1～3月期
項目																			
業況	良い	6.2	4.6	15.1	17.2	16.9	16.4	9.8	19.0	2.7	1.6	3.2	2.8	8.3	4.8	12.1	11.3		12.1
	普通	53.8	61.5	34.2	34.4	28.8	39.7	34.4	27.6	8.1	57.4	7.9	2.8	6.9	14.3	13.8	15.5		3.4
	悪い	40.0	33.8	50.7	48.4	54.2	43.8	55.7	53.4	89.2	41.0	88.9	94.4	84.7	81.0	74.1	73.2		84.5
	D・I	-33.8	-29.2	-35.6	-31.3	-37.3	-27.4	-45.9	-34.5	-86.5	-39.3	-85.7	-91.7	-76.4	-76.2	-62.1	-62.0		-72.4
	修正値	-38.2	-26.9	-33.0	-36.1	-29.8	-22.1	-49.6	-37.0	-85.3	-36.7	-84.2	-91.0	-73.7	-72.9	-66.0	-64.6	8.0	-70.9
	傾向値	-32.6		-34.6		-33.9		-35.5		-44.7		-57.6		-68.7		-75.6			
売上額	増加	10.8	12.3	24.7	17.2	13.8	16.4	16.4	25.4	8.1	6.6	9.5	0.0	41.7	12.7	29.3	30.6		7.1
	変らず	44.6	56.9	31.5	37.5	22.4	34.2	36.1	22.0	2.7	55.7	3.2	13.5	9.7	20.6	10.3	31.9		8.9
	減少	44.6	30.8	43.8	45.3	63.8	49.3	47.5	52.5	89.2	37.7	87.3	86.5	48.6	66.7	60.3	37.5		83.9
	D・I	-33.8	-18.5	-19.2	-28.1	-50.0	-32.9	-31.1	-27.1	-81.1	-31.1	-77.8	-86.5	-6.9	-54.0	-31.0	-6.9		-76.8
	修正値	-24.9	-10.3	-22.1	-34.3	-45.7	-22.8	-39.3	-34.7	-75.1	-24.3	-77.6	-86.0	-11.2	-47.1	-41.1	-22.7	-30.0	-72.7
	傾向値	-22.1		-22.4		-25.4		-30.6		-39.4		-52.7		-54.6		-49.2			
収益	増加	6.2	7.7	17.8	18.8	10.2	13.7	13.1	16.9	0.0	3.3	7.9	0.0	33.3	11.1	20.7	27.8		3.5
	変らず	43.1	64.6	35.6	35.9	30.5	39.7	31.1	32.2	10.8	55.7	4.8	13.5	15.3	20.6	15.5	30.6		15.8
	減少	50.8	27.7	46.6	45.3	59.3	46.6	55.7	50.8	89.2	41.0	87.3	86.5	51.4	68.3	63.8	41.7		80.7
	D・I	-44.6	-20.0	-28.8	-26.6	-49.2	-32.9	-42.6	-33.9	-89.2	-37.7	-79.4	-86.5	-18.1	-57.1	-43.1	-13.9		-77.2
	修正値	-38.4	-11.4	-32.7	-31.4	-46.6	-27.0	-46.2	-40.0	-85.6	-31.3	-80.1	-85.8	-24.8	-53.6	-48.4	-26.1	-24.0	-73.0
	傾向値	-31.5		-32.9		-34.3		-38.1		-46.9		-58.8		-61.2		-57.4			
価格動向	販売価格	-6.2	0.0	-2.7	4.7	0.0	-12.3	0.0	13.6	-21.6	-8.2	-19.0	-16.2	-2.8	-17.5	-6.9	-9.7		-20.7
	〃 修正値	-5.2	-2.5	-1.7	0.5	1.0	-6.1	-3.2	12.0	-18.5	-8.4	-16.5	-17.0	-3.5	-9.1	-10.0	-12.3	-7.0	-20.6
	〃 傾向値	-3.1		-3.2		-2.8		-2.6		-4.2		-8.1		-10.5		-11.7			
	仕入価格	44.6	27.7	43.8	43.8	33.9	34.2	24.6	45.8	2.7	16.4	3.2	-5.4	19.4	4.8	12.1	15.3		3.4
	〃 修正値	46.4	31.9	40.5	42.9	40.3	35.9	25.7	44.3	7.9	22.3	4.0	-1.0	23.7	9.3	10.1	12.9	-14.0	4.9
	〃 傾向値	35.8		37.9		38.5		37.7		31.5		21.2		14.3		10.9			
在庫・資金繰り	在庫数量	15.4	7.7	6.8	12.5	13.6	2.7	13.3	13.6	10.8	8.3	14.1	5.4	4.2	6.5	10.3	2.8		10.3
	〃 修正値	14.2	8.1	8.8	11.3	12.0	4.4	13.7	12.0	10.1	7.7	16.5	3.6	4.1	9.6	10.4	2.9	6.0	9.4
	資金繰り	-21.5	-12.3	-26.0	-23.4	-23.7	-25.0	-31.1	-20.3	-66.7	-29.5	-46.0	-63.9	-28.2	-48.4	-41.4	-33.8		-50.0
前年同期比	〃 修正値	-22.4	-13.8	-28.3	-26.0	-19.3	-24.0	-31.2	-18.5	-63.9	-29.2	-46.8	-61.7	-29.2	-47.1	-42.3	-35.8	-13.0	-49.5
	売上額	-41.7		-39.0		-41.7		-48.5		-75.7		-71.2		-80.4		-90.9			
	収益	-44.4		-63.4		-50.0		-72.7		-81.1		-72.9		-80.4		-88.6			
雇用	販売価格	-11.1		-7.3		-5.6		18.2		-21.6		-18.6		-17.6		-22.7			
	残業時間	-27.8	-22.6	-2.5	-28.6	-16.7	-2.5	-6.3	-2.8	-43.2	-29.0	-59.6	-29.7	-31.4	-40.4	-48.8	-21.6		-47.6
借入金	人手	-38.9	-54.8	-58.5	-40.0	-30.6	-51.2	-53.1	-36.1	-18.9	-56.3	5.2	-24.3	11.8	-1.7	0.0	11.8		0.0
	借入難易度	-2.8		-12.5		-2.9		-19.4		-19.4		14.8		10.4		12.2			
	借入をした(%)	25.0	17.9	30.0	16.7	24.2	17.9	38.7	14.7	25.7	17.2	57.9	36.1	64.0	29.5	59.1	23.8		29.7
有効回答事業所数	借入をしない(%)	75.0	82.1	70.0	83.3	75.8	82.1	61.3	85.3	74.3	82.8	42.1	63.9	36.0	70.5	40.9	76.2		70.3
		65		73		59		61		37		64		72		58			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H31 1～3月期		H31～R1 4～6月期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		対 前期比	R3 1～3月期
項目																			
設備投資動向（％）	現在の設備	-25.0	-20.0	-17.1	-25.7	-8.6	-19.5	-9.7	-11.4	-8.6	-9.7	-15.8	-5.7	-18.4	-15.8	-27.9	-16.3		-18.6
	実施した	28.1	30.0	38.5	30.3	31.4	32.4	46.7	23.5	37.5	33.3	31.0	25.8	23.9	20.8	31.0	20.9		15.0
	事業用地・建物	6.3	6.7	7.7	6.1	2.9	8.8	10.0	2.9	6.3	7.4	6.9	3.2	4.3	5.7	2.4	2.3		2.5
	機械・設備の新・増設	12.5	13.3	20.5	9.1	2.9	14.7	20.0	5.9	12.5	14.8	22.4	9.7	13.0	11.3	14.3	7.0		10.0
	機械・設備の更改	12.5	23.3	17.9	15.2	20.0	14.7	20.0	11.8	18.8	14.8	10.3	12.9	15.2	15.1	7.1	14.0		2.5
	事務機器	6.3	6.7	7.7	3.0	11.4	5.9	16.7	2.9	21.9	11.1	12.1	12.9	4.3	1.9	14.3	7.0		7.5
	車両	3.1	0.0	10.3	9.1	2.9	14.7	3.3	8.8	9.4	7.4	6.9	0.0	4.3	3.8	7.1	4.7		2.5
	その他	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	2.9	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	2.4	0.0		0.0
	実施しない	71.9	70.0	61.5	69.7	68.6	67.6	53.3	76.5	62.5	66.7	69.0	74.2	76.1	79.2	69.0	79.1		85.0
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	58.3		52.6		54.3		69.7		77.1		85.5		88.0		88.1			
	人手不足	33.3		47.4		42.9		45.5		28.6		16.4		12.0		14.3			
	同業者間の競争の激化	11.1		13.2		20.0		18.2		5.7		5.5		12.0		7.1			
	大型店との競争の激化	2.8		5.3		11.4		6.1		2.9		1.8		4.0		4.8			
	輸入製品との競争の激化	0.0		0.0		2.9		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	利幅の縮小	8.3		10.5		14.3		15.2		8.6		21.8		32.0		23.8			
	取扱商品の陳腐化	2.8		2.6		8.6		6.1		5.7		1.8		2.0		2.4			
	販売商品の不足	2.8		0.0		0.0		0.0		2.9		0.0		2.0		2.4			
	販売納入先からの値下げ要請	2.8		5.3		2.9		0.0		0.0		0.0		0.0		2.4			
	仕入先からの値上げ要請	13.9		13.2		17.1		15.2		0.0		5.5		2.0		2.4			
	人件費の増加	27.8		31.6		22.9		27.3		22.9		12.7		12.0		9.5			
	人件費以外の経費の増加	8.3		18.4		8.6		9.1		14.3		10.9		6.0		9.5			
	取引先の減少	19.4		15.8		11.4		15.2		11.4		9.1		10.0		16.7			
	商圏人口の減少	2.8		2.6		2.9		0.0		2.9		5.5		18.0		7.1			
	商店街の集客力の低下	19.4		13.2		8.6		15.2		14.3		12.7		18.0		31.0			
	店舗の狭小・老朽化	16.7		7.9		11.4		3.0		2.9		0.0		4.0		2.4			
	代金回収の悪化	0.0		0.0		2.9		0.0		0.0		1.8		2.0		0.0			
	地価の高騰	2.8		2.6		2.9		3.0		2.9		0.0		2.0		0.0			
	駐車場の確保難	2.8		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	天候の不順	11.1		7.9		20.0		21.2		17.1		14.5		10.0		9.5			
	地場産業の衰退	2.8		0.0		0.0		0.0		0.0		1.8		0.0		4.8			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.8		2.0		0.0			
	その他	2.8		7.9		0.0		0.0		34.3		18.2		8.0		7.1			
	問題なし	5.6		2.6		0.0		3.0		2.9		1.8		2.0		2.4			
重点経営施策（％）	品揃えを改善する	31.4		22.0		27.8		25.0		14.7		25.5		28.6		31.7			
	経費を節減する	57.1		48.8		50.0		46.9		70.6		54.5		67.3		73.2			
	宣伝・広報を強化する	28.6		26.8		22.2		18.8		17.6		23.6		22.4		22.0			
	新しい事業を始める	5.7		9.8		13.9		9.4		2.9		16.4		20.4		19.5			
	店舗・設備を改装する	20.0		7.3		13.9		9.4		11.8		9.1		10.2		9.8			
	仕入先を開拓・選別する	22.9		9.8		19.4		21.9		11.8		14.5		8.2		4.9			
	営業時間を延長する	0.0		0.0		2.8		0.0		2.9		1.8		2.0		2.4			
	売れ筋商品を取扱う	14.3		24.4		30.6		12.5		17.6		21.8		24.5		14.6			
	商店街事業を活性化させる	5.7		2.4		13.9		12.5		8.8		3.6		6.1		17.1			
	機械化を推進する	0.0		2.4		5.6		9.4		0.0		1.8		4.1		2.4			
	人材を確保する	31.4		41.5		36.1		34.4		20.6		7.3		12.2		9.8			
	パート化を図る	2.9		2.4		8.3		12.5		8.8		5.5		4.1		4.9			
	教育訓練を強化する	14.3		19.5		8.3		21.9		8.8		3.6		8.2		7.3			
	輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.0		0.0		3.1		0.0		0.0		0.0		0.0			
	不動産の有効活用を図る	8.6		2.4		2.8		9.4		5.9		9.1		2.0		0.0			
	その他	0.0		2.4		2.8		0.0		0.0		7.3		0.0		7.3			
	特になし	5.7		7.3		0.0		6.3		11.8		10.9		10.2		7.3			
有効回答事業所数		65		73		59		61		37		64		72		58			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H31 1～3月期		H31～R1 4～6月期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		対 前期比	R3 1～3月期
項目																			
業況	良い	16.5	11.7	20.5	15.2	22.1	19.0	15.1	13.5	2.1	12.3	6.3	2.1	7.0	8.9	4.1	4.2		2.7
	普通	51.9	58.4	44.6	50.6	44.2	46.8	54.8	43.2	31.3	57.5	16.5	27.7	15.5	24.1	23.0	25.0		29.7
	悪い	31.6	29.9	34.9	34.2	33.8	34.2	30.1	43.2	66.7	30.1	77.2	70.2	77.5	67.1	73.0	70.8		67.6
	D・I	-15.2	-18.2	-14.5	-19.0	-11.7	-15.2	-15.1	-29.7	-64.6	-17.8	-70.9	-68.1	-70.4	-58.2	-68.9	-66.7		-64.9
	修正値	-20.4	-19.8	-8.4	-20.4	-10.3	-7.9	-17.6	-32.4	-63.9	-18.5	-66.8	-65.6	-68.3	-53.4	-69.8	-66.5	-2.0	-65.8
	傾向値	-14.7		-15.7		-14.8		-14.1		-20.3		-33.5		-47.9		-62.0			
売上額	増加	14.1	16.7	28.9	19.2	10.4	24.7	19.2	20.0	4.3	11.3	8.9	8.5	20.8	21.8	16.2	14.1		5.4
	変らず	52.6	48.7	33.7	46.2	40.3	44.4	45.2	40.0	27.7	46.5	15.2	19.1	22.2	25.6	24.3	39.4		33.8
	減少	33.3	34.6	37.3	34.6	49.4	30.9	35.6	40.0	68.1	42.3	75.9	72.3	56.9	52.6	59.5	46.5		60.8
	D・I	-19.2	-17.9	-8.4	-15.4	-39.0	-6.2	-16.4	-20.0	-63.8	-31.0	-67.1	-63.8	-36.1	-30.8	-43.2	-32.4		-55.4
	修正値	-18.5	-15.1	-3.4	-18.4	-37.8	-2.4	-20.1	-22.7	-60.9	-25.7	-64.4	-62.6	-34.2	-29.3	-47.6	-35.1	-13.0	-52.2
	傾向値	-8.7		-10.0		-12.6		-18.1		-26.3		-39.2		-46.2		-49.2			
収益	増加	12.8	15.8	22.9	15.4	11.8	19.5	17.8	17.6	10.4	11.3	8.9	10.4	16.7	16.7	16.2	15.5		8.1
	変らず	53.8	46.1	37.3	48.7	42.1	48.8	47.9	41.9	25.0	54.9	13.9	16.7	22.2	26.9	24.3	36.6		36.5
	減少	33.3	38.2	39.8	35.9	46.1	31.7	34.2	40.5	64.6	33.8	77.2	72.9	61.1	56.4	59.5	47.9		55.4
	D・I	-20.5	-22.4	-16.9	-20.5	-34.2	-12.2	-16.4	-23.0	-54.2	-22.5	-68.4	-62.5	-44.4	-39.7	-43.2	-32.4		-47.3
	修正値	-23.3	-19.6	-11.2	-20.9	-33.8	-12.2	-18.8	-25.2	-53.0	-19.3	-64.2	-60.0	-43.2	-39.7	-47.2	-34.5	-4.0	-46.0
	傾向値	-13.9		-15.3		-16.8		-20.3		-26.2		-36.9		-44.6		-49.2			
価格動向	料金価格	2.6	1.3	0.0	5.2	-2.6	-1.2	-5.5	4.0	-16.7	-6.9	-22.7	-25.0	-16.9	-21.3	-17.8	-20.0		-19.2
	〃 修正値	1.6	0.3	1.4	3.1	-2.3	0.0	-5.6	3.6	-15.8	-5.0	-20.8	-23.5	-15.3	-20.0	-18.2	-19.9	-3.0	-18.1
	〃 傾向値	-0.6		-0.6		-0.3		-0.7		-3.8		-9.0		-13.6		-17.0			
	材料価格	30.3	34.2	30.1	38.2	26.0	28.0	16.4	32.0	19.6	16.7	9.5	10.9	0.0	2.7	4.2	0.0		4.2
	〃 修正値	32.0	34.0	28.1	36.9	27.8	27.2	18.1	33.5	20.7	17.8	10.6	11.9	2.9	5.1	5.5	2.0	3.0	4.2
	〃 傾向値	27.6		28.1		28.4		27.2		24.4		20.4		14.6		9.8			
在庫・資金繰り	資金繰り	-15.2	-13.0	-12.0	-15.2	-13.0	-15.9	-5.5	-20.0	-35.4	-6.9	-50.6	-41.7	-33.8	-41.8	-32.4	-38.6		-32.4
	〃 修正値	-15.1	-15.7	-10.1	-14.4	-12.5	-12.6	-8.0	-21.1	-33.6	-8.5	-47.4	-39.0	-33.6	-37.7	-34.0	-38.2	0.0	-35.3
前年同期比	売上額	-3.7		-1.5		-16.7		-28.6		-56.5		-62.5		-53.3		-50.0			
	収益	-10.9		-10.1		-20.0		-32.1		-63.8		-68.1		-56.7		-48.4			
雇用	残業時間	-10.7	-7.4	-4.3	-7.3	-8.3	-11.8	-17.9	-13.3	-35.4	-16.4	-57.5	-41.7	-26.7	-38.4	-35.5	-22.0		-33.9
	人手	-50.0	-45.3	-46.4	-48.1	-52.5	-46.4	-48.2	-50.0	-37.5	-52.7	-9.7	-25.0	-16.4	-15.3	-21.3	-21.7		-19.7
借入金	借入難易度	0.0		-5.9		-3.4		1.9		-8.7		1.4		-9.8		-5.1			
	借入をした(%)	24.6	3.8	19.7	16.1	22.0	20.6	20.0	7.1	26.1	9.3	40.6	20.9	32.3	23.9	37.1	16.9		12.5
	借入をしない(%)	75.4	96.2	80.3	83.9	78.0	79.4	80.0	92.9	73.9	90.7	59.4	79.1	67.7	76.1	62.9	83.1		87.5
有効回答事業所数		79		83		77		74		48		79		72		74			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H31 1～3月期		H31～R1 4～6月期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		対 前期比	R3 1～3月期
項目																			
設備投資動向（％）	現在の設備	-12.3	-14.5	-14.5	-10.7	-11.5	-8.7	-14.5	-11.5	-6.3	-22.2	-4.3	0.0	-5.2	-4.3	-8.2	-5.3		-9.8
	実施した	28.6	24.5	37.3	27.3	41.7	32.3	46.3	26.4	37.0	35.8	31.0	23.3	25.0	20.9	26.7	17.5		22.4
	事業用地・建物	0.0	5.7	3.0	3.6	5.0	1.6	1.9	3.8	0.0	1.9	2.8	2.3	3.3	6.0	3.3	1.8		5.2
	機械・設備の新・増設	5.4	3.8	13.4	7.3	10.0	11.3	22.2	5.7	15.2	13.2	11.3	7.0	13.3	6.0	3.3	7.0		3.4
	機械・設備の更改	10.7	13.2	9.0	10.9	16.7	16.1	14.8	13.2	13.0	9.4	8.5	7.0	8.3	7.5	10.0	5.3		13.8
	事務機器	8.9	7.5	16.4	10.9	16.7	9.7	14.8	3.8	8.7	11.3	9.9	7.0	8.3	6.0	8.3	5.3		5.2
	車両	10.7	9.4	14.9	10.9	21.7	14.5	18.5	5.7	19.6	15.1	9.9	9.3	10.0	10.4	13.3	10.5		5.2
	その他	0.0	0.0	1.5	0.0	3.3	1.6	1.9	0.0	2.2	1.9	1.4	2.3	0.0	0.0	1.7	0.0		1.7
	実施しない	71.4	75.5	62.7	72.7	58.3	67.7	53.7	73.6	63.0	64.2	69.0	76.7	75.0	79.1	73.3	82.5		77.6
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	56.4		37.5		43.3		40.7		60.4		65.7		67.2		62.3			
	人手不足	49.1		46.9		50.0		51.9		47.9		22.9		31.1		34.4			
	同業者間の競争の激化	18.2		17.2		16.7		22.2		10.4		15.7		14.8		16.4			
	大手企業との競争の激化	1.8		3.1		5.0		1.9		4.2		2.9		1.6		1.6			
	合理化の不足	5.5		6.3		3.3		5.6		2.1		8.6		4.9		8.2			
	利幅の縮小	20.0		20.3		16.7		14.8		22.9		20.0		19.7		18.0			
	取扱事務の陳腐化	0.0		0.0		1.7		0.0		0.0		1.4		1.6		0.0			
	材料価格の上昇	12.7		15.6		15.0		7.4		8.3		1.4		1.6		4.9			
	料金の値下げ要請	0.0		3.1		3.3		5.6		6.3		2.9		3.3		4.9			
	人件費の増加	29.1		25.0		25.0		35.2		27.1		20.0		19.7		19.7			
	人件費以外の経費の増加	9.1		6.3		15.0		7.4		10.4		7.1		3.3		8.2			
	技術力の不足	10.9		12.5		10.0		11.1		10.4		10.0		4.9		11.5			
	取引先の減少	12.7		10.9		5.0		5.6		10.4		7.1		13.1		13.1			
	商圏人口の減少	3.6		1.6		3.3		1.9		0.0		0.0		0.0		1.6			
	地価の高騰	3.6		3.1		0.0		1.9		0.0		0.0		0.0		0.0			
	駐車場の確保難	3.6		1.6		5.0		3.7		2.1		2.9		1.6		3.3			
	店舗・設備の狭小・老朽化	5.5		1.6		6.7		3.7		4.2		7.1		3.3		1.6			
	代金回収の悪化	1.8		1.6		1.7		1.9		2.1		0.0		1.6		1.6			
	天候の不順	3.6		3.1		8.3		9.3		4.2		8.6		0.0		3.3			
	地場産業の衰退	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.6			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		1.6		5.0		0.0		0.0		0.0		3.3		4.9			
	その他	1.8		3.1		3.3		1.9		8.3		11.4		6.6		4.9			
	問題なし	5.5		6.3		3.3		7.4		4.2		1.4		1.6		3.3			
重点経営施策（％）	販路を広げる	43.9		41.8		36.1		39.3		42.6		37.0		44.1		36.2			
	経費を節減する	47.4		40.3		42.6		48.2		44.7		49.3		55.9		48.3			
	宣伝・広告を強化する	10.5		17.9		13.1		12.5		14.9		12.3		8.5		8.6			
	新しい事業を始める	15.8		11.9		9.8		14.3		14.9		12.3		20.3		15.5			
	店舗・設備を改装する	3.5		1.5		4.9		0.0		2.1		4.1		1.7		3.4			
	提携先を見つける	7.0		4.5		9.8		3.6		6.4		6.8		5.1		12.1			
	技術力を強化する	21.1		26.9		18.0		21.4		21.3		17.8		15.3		17.2			
	機械化を促進する	3.5		1.5		1.6		1.8		0.0		4.1		1.7		1.7			
	人材を確保する	47.4		46.3		45.9		55.4		48.9		35.6		32.2		32.8			
	パート化を図る	1.8		3.0		3.3		1.8		4.3		2.7		0.0		1.7			
	教育訓練を強化する	15.8		11.9		11.5		16.1		14.9		13.7		13.6		15.5			
	労働条件を改善する	14.0		7.5		14.8		14.3		6.4		9.6		13.6		8.6			
	不動産の有効活用を図る	3.5		1.5		3.3		1.8		0.0		4.1		3.4		3.4			
	その他	0.0		0.0		3.3		1.8		2.1		9.6		1.7		5.2			
	特になし	8.8		4.5		8.2		5.4		6.4		2.7		3.4		3.4			
有効回答事業所数		79		83		77		74		48		79		72		74			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H31 1～3月期		H31～R1 4～6月期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		対 前期比	R3 1～3月期
項目																			
業況	良い	21.4	18.6	17.8	17.4	20.8	14.9	21.1	21.3	18.5	14.5	2.2	6.3	2.5	3.2	3.9	12.7		6.5
	普通	42.9	44.3	37.8	43.5	41.6	40.2	49.3	33.3	36.9	49.3	22.6	29.7	26.6	17.2	37.7	27.8		39.0
	悪い	35.7	37.1	44.4	39.1	37.7	44.8	29.6	45.3	44.6	36.2	75.3	64.1	70.9	79.6	58.4	59.5		54.5
	D・I	-14.3	-18.6	-26.7	-21.7	-16.9	-29.9	-8.5	-24.0	-26.2	-21.7	-73.1	-57.8	-68.4	-76.3	-54.5	-46.8		-48.1
	修正値	-24.0	-26.3	-10.4	-7.2	-10.8	-27.7	-17.3	-28.0	-32.2	-28.8	-64.9	-48.3	-63.2	-73.5	-58.0	-49.0	5.0	-52.0
	傾向値	-18.8		-21.7		-20.7		-18.2		-18.1		-25.3		-37.6		-49.8			
売上額	増加	28.6	23.9	18.9	8.6	20.8	20.2	23.9	28.9	21.5	25.7	7.5	9.4	13.9	14.0	15.6	29.1		16.9
	変らず	41.4	39.4	28.9	37.1	39.0	37.1	39.4	32.9	26.2	40.0	15.1	21.9	22.8	17.2	35.1	16.5		32.5
	減少	30.0	36.6	52.2	54.3	40.3	42.7	36.6	38.2	52.3	34.3	77.4	68.8	63.3	68.8	49.4	54.4		50.6
	D・I	-1.4	-12.7	-33.3	-45.7	-19.5	-22.5	-12.7	-9.2	-30.8	-8.6	-69.9	-59.4	-49.4	-54.8	-33.8	-25.3		-33.8
	修正値	-11.1	-14.7	-10.8	-26.0	-18.5	-27.9	-22.3	-21.0	-36.9	-12.4	-57.0	-42.4	-45.9	-54.9	-41.5	-35.7	4.0	-36.8
	傾向値	-19.3		-19.1		-17.4		-16.6		-20.4		-28.6		-36.9		-43.3			
受注残	増加	15.7	14.3	13.3	11.4	11.7	20.2	25.4	25.3	14.1	17.4	4.3	6.3	6.3	14.3	7.8	26.6		14.3
	変らず	44.3	57.1	45.6	44.3	50.6	41.6	32.4	36.0	43.8	37.7	22.8	33.3	35.4	23.1	53.2	24.1		41.6
	減少	40.0	28.6	41.1	44.3	37.7	38.2	42.3	38.7	42.2	44.9	72.8	60.3	58.2	62.6	39.0	49.4		44.2
	D・I	-24.3	-14.3	-27.8	-32.9	-26.0	-18.0	-16.9	-13.3	-28.1	-27.5	-68.5	-54.0	-51.9	-48.4	-31.2	-22.8		-29.9
	修正値	-21.4	-18.4	-17.2	-13.2	-26.1	-22.9	-27.2	-21.1	-25.9	-30.5	-60.3	-39.3	-48.8	-49.2	-40.4	-30.4	8.0	-32.1
	傾向値	-23.1		-24.2		-23.8		-23.6		-24.2		-29.8		-38.1		-43.1			
施工高	増加	24.3	22.5	16.7	8.6	22.1	24.7	25.7	28.9	26.6	24.6	5.4	9.5	11.8	14.3	14.3	28.9		14.5
	変らず	50.0	39.4	32.2	41.4	29.9	33.7	35.7	27.6	26.6	31.9	14.1	25.4	25.0	17.6	40.3	18.4		32.9
	減少	25.7	38.0	51.1	50.0	48.1	41.6	38.6	43.4	46.9	43.5	80.4	65.1	63.2	68.1	45.5	52.6		52.6
	D・I	-1.4	-15.5	-34.4	-41.4	-26.0	-16.9	-12.9	-14.5	-20.3	-18.8	-75.0	-55.6	-51.3	-53.8	-31.2	-23.7		-38.2
	修正値	-10.7	-20.4	-7.3	-18.8	-25.7	-21.1	-23.2	-24.3	-28.2	-24.2	-63.0	-37.7	-47.3	-53.5	-40.6	-33.0	7.0	-41.2
	傾向値	-17.3		-17.5		-17.6		-18.1		-21.0		-28.5		-36.7		-42.2			
収益	増加	20.0	19.7	12.2	8.6	16.9	14.6	19.7	22.4	18.5	14.3	6.5	6.3	7.6	14.0	9.1	20.3		10.4
	変らず	37.1	40.8	34.4	45.7	35.1	37.1	46.5	38.2	29.2	45.7	17.2	26.6	30.4	14.0	40.3	27.8		36.4
	減少	42.9	39.4	53.3	45.7	48.1	48.3	33.8	39.5	52.3	40.0	76.3	67.2	62.0	72.0	50.6	51.9		53.2
	D・I	-22.9	-19.7	-41.1	-37.1	-31.2	-33.7	-14.1	-17.1	-33.8	-25.7	-69.9	-60.9	-54.4	-58.1	-41.6	-31.6		-42.9
	修正値	-28.5	-25.6	-23.7	-14.7	-30.8	-35.8	-24.8	-26.3	-36.9	-30.8	-58.8	-46.1	-50.8	-56.9	-50.1	-40.2	1.0	-46.0
	傾向値	-26.5		-29.0		-28.4		-27.3		-28.7		-33.7		-40.2		-46.5			
価格動向	請負価格	-10.1	-7.0	-18.9	-22.9	-18.2	-16.9	-21.1	-18.4	-24.6	-20.0	-49.5	-39.1	-41.8	-44.1	-28.6	-27.8		-27.3
	修正値	-15.1	-11.1	-10.2	-15.7	-15.8	-15.1	-24.6	-20.9	-27.6	-24.2	-41.3	-32.6	-37.9	-41.0	-33.4	-29.7	4.0	-30.9
	傾向値	-13.2		-14.4		-13.7		-15.0		-18.9		-24.5		-31.3		-35.2			
	材料価格	40.3	43.5	44.8	41.8	48.6	41.9	45.6	52.8	37.7	38.8	19.1	35.0	18.7	21.6	16.0	16.0		16.0
	修正値	40.9	43.9	45.8	43.4	46.5	44.3	46.9	51.0	38.6	38.6	23.0	35.9	18.6	26.2	17.2	16.2	-1.0	16.3
	傾向値	35.4		38.4		41.2		43.5		44.5		41.0		34.0		26.6			
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	-1.5	7.6	-3.5	3.1	-1.4	-6.0	1.5	-5.6	-4.9	-1.5	1.1	-8.3	9.5	-2.3	5.4	6.8		5.4
	修正値	-1.2	7.0	-1.9	1.4	-2.0	-3.0	1.3	-4.9	-3.1	-1.9	2.9	-8.3	7.1	0.4	3.7	5.2	-3.0	3.9
	資金繰り	-15.9	-15.7	-10.1	-27.5	-6.5	-20.5	-16.9	-12.0	-27.7	-21.4	-37.6	-35.9	-25.6	-41.3	-25.0	-30.8		-23.7
	修正値	-16.2	-14.4	-10.9	-26.3	-7.4	-21.4	-15.3	-14.8	-26.1	-20.0	-35.3	-31.5	-27.6	-39.9	-24.3	-34.3	3.0	-24.0
前年同期比	売上額	-29.2		-20.5		-14.3		-21.7		-18.5		-69.9		-71.8		-52.6			
	収益	-40.0		-30.3		-27.6		-26.1		-27.7		-69.9		-70.5		-55.3			
雇用	残業時間	-7.7	5.6	-27.3	-23.1	-22.1	-10.2	-24.6	-13.2	-23.8	-17.6	-59.3	-39.7	-32.5	-47.8	-27.3	-23.4		-22.1
	人手	-69.2	-54.9	-41.6	-43.1	-52.6	-48.3	-53.6	-50.0	-50.8	-48.5	2.2	-31.7	-12.8	-5.5	-27.3	-30.8		-31.2
借入金	借入難易度	0.0		-1.2		6.6		-2.9		-13.3		2.3		2.9		4.1			
	借入をした(%)	32.3	18.2	29.9	31.7	26.0	15.7	32.8	18.9	31.1	25.4	33.7	20.3	37.7	35.3	30.7	18.3		13.3
	借入をしな(%)	67.7	81.8	70.1	68.3	74.0	84.3	67.2	81.1	68.9	74.6	66.3	79.7	62.3	64.7	69.3	81.7		86.7
有効回答事業所数		70		90		77		71		65		93		79		77			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H31 1～3月期		H31～R1 4～6月期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		対 前期比	R3 1～3月期
項目																			
設備投資動向（％）	現在の設備	-19.0	-7.6	-10.3	-9.5	-17.1	-12.8	-1.5	-16.0	-6.3	-1.6	-6.7	-1.6	-3.9	-9.0	-6.8	-1.3		-6.8
	実施した	32.2	32.8	35.8	32.8	31.5	32.5	28.1	31.5	35.2	28.1	32.9	32.1	31.1	22.9	35.1	26.0		36.1
	事業用地・建物	6.8	3.1	2.5	4.9	1.4	2.4	4.7	6.8	1.9	6.3	3.5	1.9	4.1	3.6	4.1	4.1		2.8
	機械・設備の新・増設	1.7	9.4	6.2	3.3	8.2	2.4	4.7	8.2	5.6	4.7	10.6	3.8	8.1	7.2	6.8	8.2		6.9
	機械・設備の更改	5.1	6.3	6.2	4.9	5.5	6.0	7.8	4.1	9.3	4.7	3.5	3.8	6.8	4.8	6.8	5.5		9.7
	事務機器	20.3	9.4	13.6	13.1	12.3	14.5	17.2	8.2	24.1	17.2	18.8	18.9	13.5	10.8	24.3	15.1		23.6
	車両	11.9	20.3	19.8	19.7	27.4	19.3	12.5	23.3	18.5	12.5	16.5	15.1	20.3	8.4	18.9	12.3		18.1
	その他	1.7	0.0	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0		1.4
	実施しない	67.8	67.2	64.2	67.2	68.5	67.5	71.9	68.5	64.8	71.9	67.1	67.9	68.9	77.1	64.9	74.0		63.9
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	40.3		43.7		33.8		40.9		45.9		67.0		57.7		52.0			
	人手不足	61.3		46.0		43.2		50.0		39.3		31.9		30.8		33.3			
	大手企業との競争の激化	1.6		1.1		6.8		4.5		6.6		3.3		3.8		5.3			
	同業者間の競争の激化	12.9		16.1		17.6		13.6		9.8		17.6		17.9		10.7			
	親企業による選別の強化	3.2		4.6		4.1		3.0		0.0		0.0		5.1		2.7			
	合理化の不足	1.6		3.4		2.7		3.0		3.3		4.4		2.6		2.7			
	利幅の縮小	25.8		24.1		29.7		30.3		26.2		33.0		29.5		30.7			
	材料価格の上昇	27.4		17.2		14.9		15.2		13.1		7.7		10.3		9.3			
	下請の確保難	21.0		29.9		29.7		30.3		31.1		19.8		21.8		21.3			
	駐車場・資材置場の確保難	1.6		4.6		5.4		4.5		1.6		5.5		5.1		8.0			
	人件費の増加	17.7		20.7		14.9		18.2		23.0		13.2		11.5		12.0			
	人件費以外の経費の増加	8.1		5.7		9.5		9.1		13.1		9.9		6.4		12.0			
	技術力の不足	12.9		10.3		12.2		9.1		4.9		8.8		12.8		18.7			
	代金回収の悪化	1.6		2.3		1.4		0.0		0.0		1.1		0.0		1.3			
	天候の不順	3.2		3.4		4.1		6.1		0.0		2.2		7.7		1.3			
	地場産業の衰退	0.0		4.6		2.7		0.0		3.3		0.0		1.3		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0		2.7		1.5		1.6		1.1		2.6		0.0			
	その他	0.0		1.1		0.0		3.0		9.8		3.3		5.1		0.0			
	問題なし	3.2		3.4		6.8		3.0		6.6		6.6		6.4		8.0			
重点経営施策（％）	販路を広げる	33.3		31.0		36.5		35.8		32.8		28.9		29.5		35.5			
	経費を節減する	25.4		34.5		31.1		37.3		37.5		37.8		48.7		39.5			
	情報力を強化する	23.8		20.7		18.9		19.4		17.2		27.8		29.5		23.7			
	新しい工法を導入する	1.6		6.9		4.1		9.0		4.7		4.4		6.4		5.3			
	新しい事業を始める	7.9		4.6		5.4		4.5		1.6		11.1		3.8		11.8			
	技術力を高める	31.7		32.2		36.5		32.8		25.0		35.6		38.5		35.5			
	人材を確保する	58.7		52.9		54.1		41.8		48.4		38.9		43.6		39.5			
	パート化を図る	0.0		2.3		4.1		0.0		1.6		0.0		1.3		1.3			
	教育訓練を強化する	11.1		10.3		13.5		17.9		14.1		15.6		11.5		10.5			
	労働条件を改善する	14.3		16.1		17.6		13.4		17.2		13.3		12.8		11.8			
	不動産の有効活用を図る	4.8		1.1		4.1		3.0		1.6		2.2		2.6		2.6			
	その他	0.0		0.0		0.0		0.0		3.1		0.0		0.0		1.3			
	特になし	4.8		8.0		9.5		6.0		15.6		8.9		10.3		10.5			
有効回答事業所数		70		90		77		71		65		93		79		77			

調査の概要

- 1. 調査時期 令和2年10月～12月期
- 2. 調査方法 郵送アンケート調査
- 3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	102	80
卸売業	102	76
小売業	102	58
サービス業	102	74
建設業	102	77
合計	510	365